

5 地域での活動について(問E)

(1) 会・グループ等への参加頻度

[設問] 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(個人の活動も含みます)。
(1)～(10)について、あてはまる欄に○をつけてください。

【一般高齢者】(回答数:1,011)

	上段:回答数 下段:割合(%)	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に数回	参加して いない	無回答
(1)ボランティア	10 1.0	18 1.8	18 1.8	36 3.6	39 3.9	662 65.5	228 22.6	
(2)スポーツ関係	47 4.6	62 6.1	60 5.9	50 4.9	30 3.0	553 54.7	209 20.7	
(3)趣味関係	36 3.6	52 5.1	45 4.5	99 9.8	67 6.6	520 51.4	192 19.0	
(4)学習・教養サークル	3 0.3	10 1.0	15 1.5	32 3.2	32 3.2	673 66.6	246 24.3	
(5)てんとうむし体操(転倒予防体操)	3 0.3	6 0.6	13 1.3	12 1.2	7 0.7	726 71.8	244 24.1	
(6)地域サロン(地域テラス)	3 0.3	0 0.0	1 0.1	5 0.5	15 1.5	726 71.8	261 25.8	
(7)高齢者のつどい	3 0.3	3 0.3	4 0.4	7 0.7	26 2.6	723 71.5	245 24.2	
(8)老人クラブ	3 0.3	3 0.3	1 0.1	5 0.5	16 1.6	733 72.5	250 24.7	
(9)町内会・自治会	6 0.6	5 0.5	5 0.5	30 3.0	131 13.0	600 59.3	234 23.1	
(10)収入のある仕事	117 11.6	74 7.3	20 2.0	12 1.2	9 0.9	558 55.2	221 21.9	

○いずれも「参加していない」割合が最も多い。回数を限定せずに全体として参加が多いのは、「(3)趣味関係」が合わせて29.6%、次いで「(2)スポーツ関係」が24.5%、「(10)収入のある仕事」が23.0%、「(9)町内会・自治会」が17.6%、「(1)ボランティア」が12.1%、「(4)学習・教養サークル」が9.2%などとなっている。「(3)趣味関係」についてみると、「月1～3回」が9.8%で最も多く、次いで「年に数回」が6.6%、「週2～3回」が5.1%などとなっている。

【在宅要支援認定者等】(回答数:976)

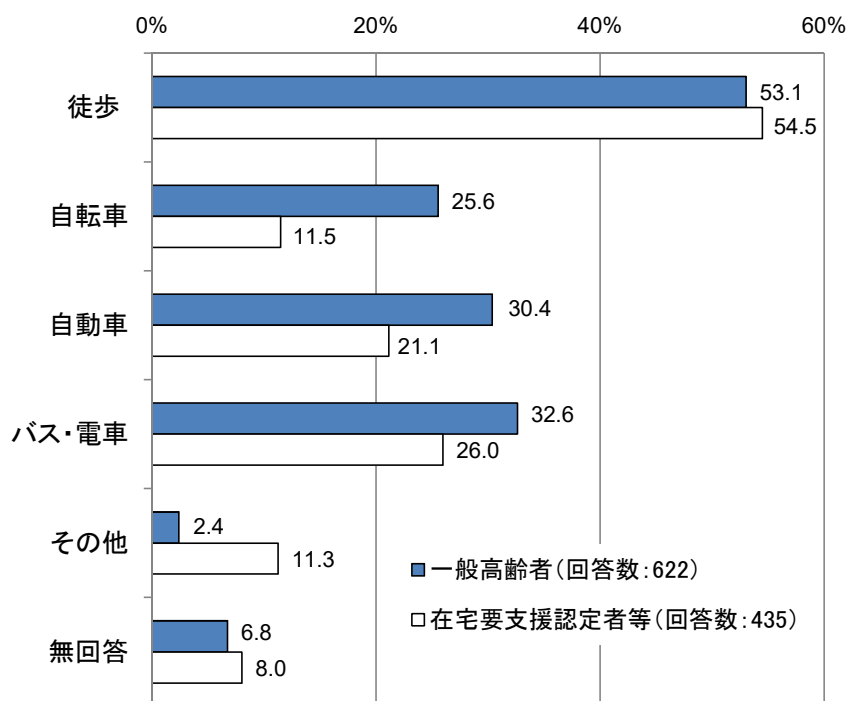
	上段:回答数 下段:割合(%)	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に数回	参加して いない	無回答
(1)ボランティア	3	2	10	9	29	613	310	
	0.3	0.2	1.0	0.9	3.0	62.8	31.8	
(2)スポーツ関係	14	39	34	17	7	584	281	
	1.4	4.0	3.5	1.7	0.7	59.8	28.8	
(3)趣味関係	15	50	27	59	26	541	258	
	1.5	5.1	2.8	6.0	2.7	55.4	26.4	
(4)学習・教養サークル	3	4	20	36	15	596	302	
	0.3	0.4	2.0	3.7	1.5	61.1	30.9	
(5)てんとうむし体操(転倒予防体操)	13	22	29	22	5	605	280	
	1.3	2.3	3.0	2.3	0.5	62.0	28.7	
(6)地域サロン(地域テラス)	2	5	5	9	21	620	314	
	0.2	0.5	0.5	0.9	2.2	63.5	32.2	
(7)高齢者のつどい	9	21	20	25	27	593	281	
	0.9	2.2	2.0	2.6	2.8	60.8	28.8	
(8)老人クラブ	7	6	2	10	22	623	306	
	0.7	0.6	0.2	1.0	2.3	63.8	31.4	
(9)町内会・自治会	3	2	2	15	57	601	296	
	0.3	0.2	0.2	1.5	5.8	61.6	30.3	
(10)収入のある仕事	11	6	0	5	7	634	313	
	1.1	0.6	0.0	0.5	0.7	65.0	32.1	

○いずれも「参加していない」が最も多い。回数を限定せずに全体として参加が多いのは、「(3)趣味関係」が合わせて18.1%、次いで「(2)スポーツ関係」が11.3%、「(7)高齢者のつどい」が10.5%、「(5)てんとうむし体操(転倒予防体操)」が9.4%、「(9)町内会・自治会」が8.0%などとなっている。「(3)趣味関係」についてみると、「月1～3回」が6.0%で最も多く、次いで「週2～3回」が5.1%、「週に1回」が2.8%、「年に数回」が2.7%などとなっている。

(2) 活動場所までの交通手段

[設問] (地域での活動に参加している方のみ)

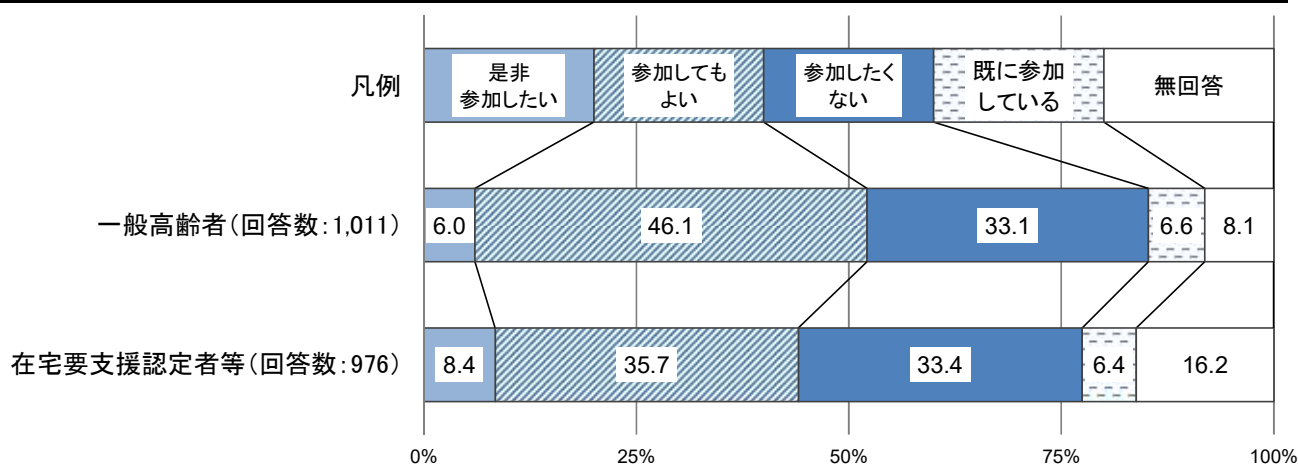
活動場所までの交通手段をお教えてください。(〇はいくつでも)



○いずれも「徒歩」がほぼ半数を占め、次いで「バス・電車」が多くなっている。「自転車」が一般高齢者で 25.6% であるのに対し、在宅要支援認定者等では 11.5% と一般高齢者を大きく下回っている。

(3) 健康づくり活動、グループ活動に参加者として参加する意思

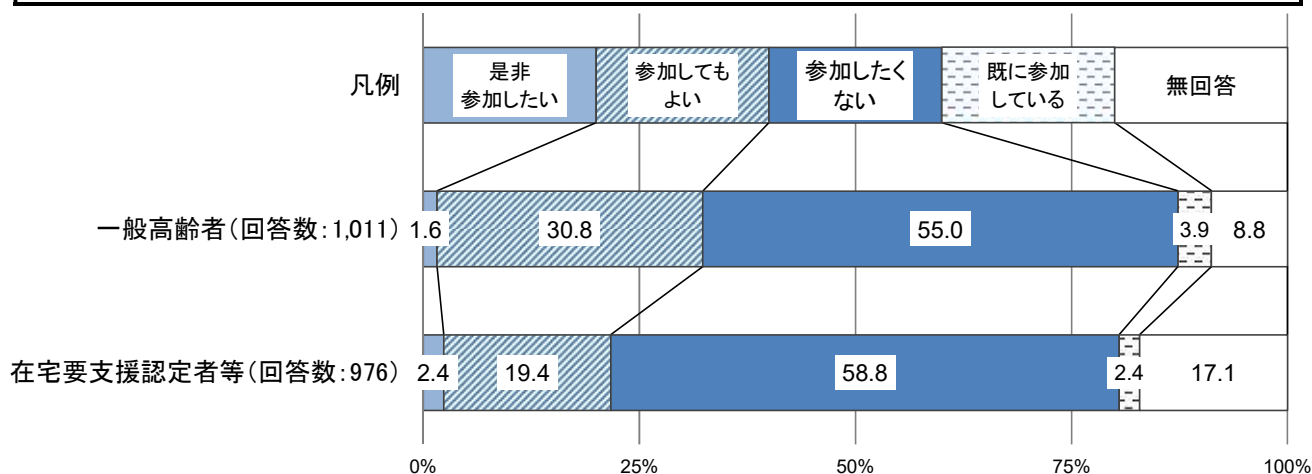
[設問] 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



○「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると、一般高齢者では 52.1%、在宅要支援認定者等では 44.1% が参加の意向を示している。これに対し、「参加したくない」は、一般高齢者の 33.1% に対し、在宅要支援認定者等では 33.4% となっている。

(4) 健康づくり活動、グループ活動に企画・運営者として参加する意思

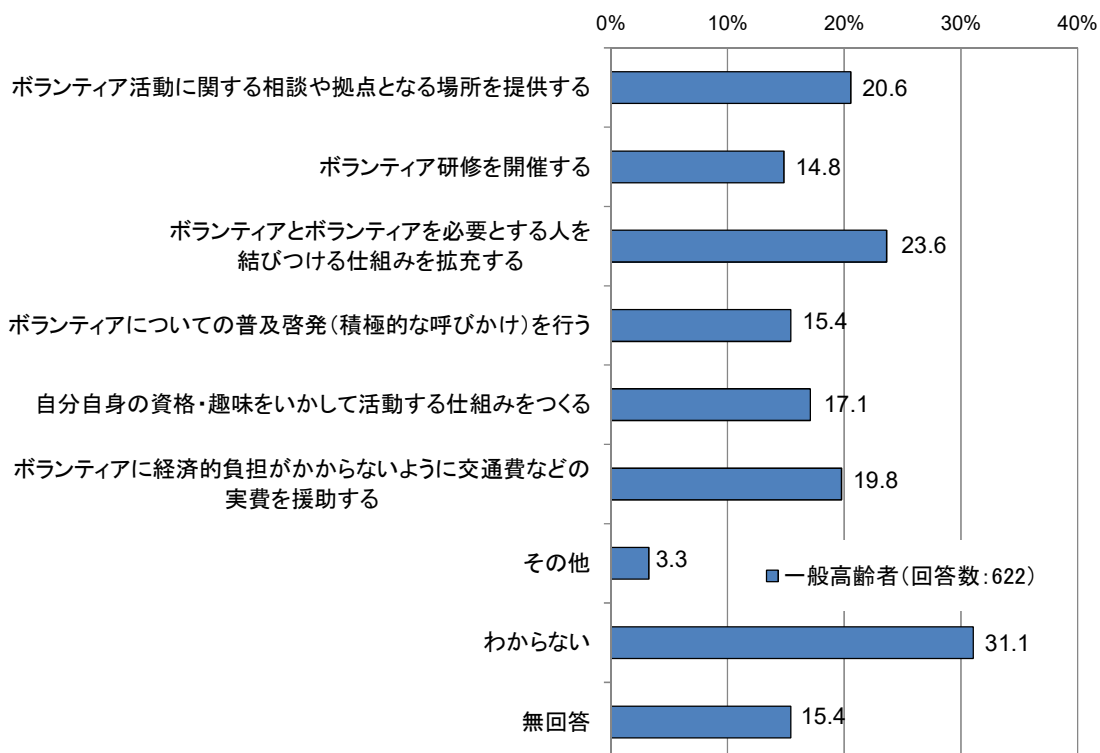
[設問] 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも「参加したくない」が最も多く、それぞれ55.0%、58.8%、次いで「参加してもよい」がそれぞれ30.8%、19.4%、「既に参加している」がそれぞれ3.9%、2.4%などとなっている。

(5) ボランティア活動の輪を広げていくために必要なこと

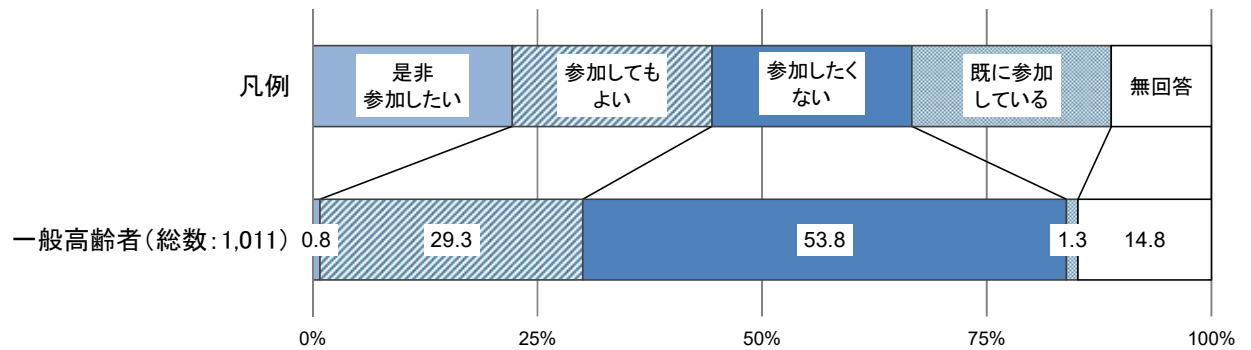
[設問] 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)



○「わからない」が31.1%で最も多く、次いで「ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する」が23.6%、「ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する」が20.6%などとなっている。

(6) 地域のボランティア活動に支援者として参加する意思

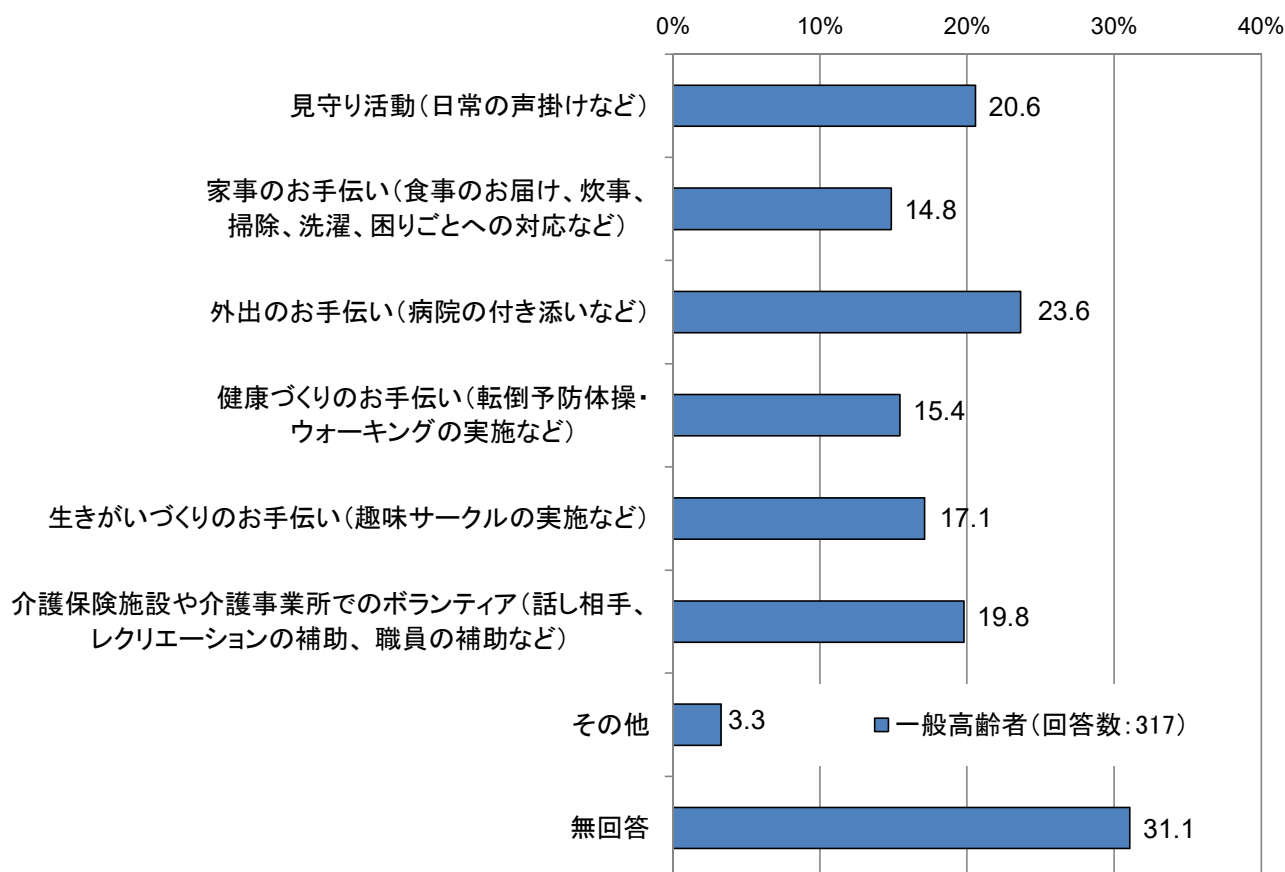
[設問] 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、あなたはその活動に支援者として参加してみたいと思いますか。



○「参加したくない」が 53.8%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 29.3%、「既に参加している」が 1.3%などとなっている。

(7) 支援者として参加したい地域のボランティア活動

[設問] (ボランティア活動に「是非参加したい」、「参加してもよい」、「既に参加している」方のみ)
 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動では、支援者としてどの活動に参加したいですか。また、どの活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



○無回答を除き、「外出のお手伝い(病院の付き添いなど)」が 23.6%で最も多く、次いで「見守り活動(日常の声掛けなど)」が 20.6%、「介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーションの補助、職員の補助など)」が 19.8%、「生きがいづくりのお手伝い(趣味サークルの実施など)」が 17.1%などとなっている。

6 「たすけあい」について(問F)

(1)「たすけあい」の状況

〔設問〕あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。以下に挙げる人についてあてはまる欄に○印をつけてください。(それぞれ○はいくつでも)「その他」の場合は欄に具体的にご記入ください。

【一般高齢者】

上段: 回答数 下段: 割合(%)	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	戚親孫 兄弟姉妹親	近隣(同じ地域の人)	友人	その他	はいない そのような人	無回答
(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	1,011 100.0	522 51.6	155 15.3	306 30.3	218 21.6	92 9.1	356 35.2	22 2.2	60 5.9	60 5.9
(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	1,011 100.0	452 44.7	114 11.3	244 24.1	206 20.4	94 9.3	352 34.8	18 1.8	93 9.2	102 10.1
(3)病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1,011 100.0	582 57.6	196 19.4	243 24.0	71 7.0	21 2.1	34 3.4	13 1.3	101 10.0	70 6.9
(4)反対に、看病や世話をしてくれる人	1,011 100.0	551 54.5	147 14.5	188 18.6	122 12.1	41 4.1	61 6.0	16 1.6	170 16.8	105 10.4

○いずれの項も「配偶者」が最も多くなっている。次いで「(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」「(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人」では、「友人」が、「(3)病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」「(4)反対に、看病や世話をしてくれる人」では「別居の子ども」が多くなっている。

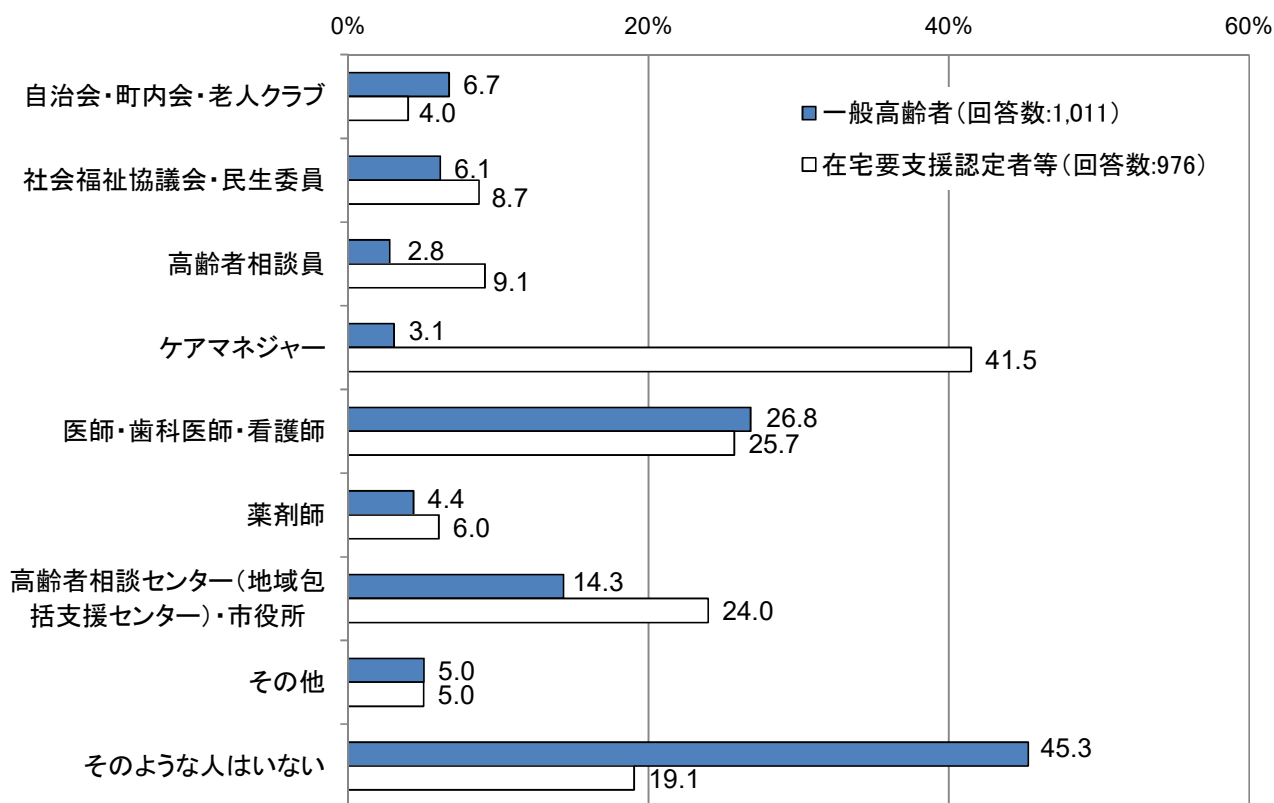
【在宅要支援認定者等】

上段: 回答数 下段: 割合(%)	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	戚親孫 兄弟姉妹親	近隣(同じ地域の人)	友人	その他	はいない そのような人	無回答
(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	976 100.0	277 28.4	167 17.1	325 33.3	165 16.9	99 10.1	280 28.7	26 2.7	64 6.6	92 9.4
(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	976 100.0	209 21.4	107 11.0	190 19.5	141 14.4	111 11.4	270 27.7	16 1.6	139 14.2	170 17.4
(3)病気で数日間寝込んだとき看病や病気の世話をしてくれる人	976 100.0	291 29.8	201 20.6	305 31.3	50 5.1	19 1.9	36 3.7	31 3.2	119 12.2	113 11.6
(4)反対に看病や世話をしてくれる人	976 100.0	268 27.5	97 9.9	75 7.7	44 4.5	25 2.6	29 3.0	41 4.2	312 32.0	208 21.3

○「(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」「(3)病気で数日間寝込んだとき看病や病気の世話をしてくれる人」では「別居の子ども」、「(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人」では「友人」、「(4)反対に看病や世話をしてくれる人」では「そのような人はいない」が最も多くなっている。次いで「(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人」「(3)病気で数日間寝込んだとき看病や病気の世話をしてくれる人」「(4)反対に看病や世話をしてくれる人」では「配偶者」、「(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」では「友人」が多くなっている。

(2) 相談相手について

[設問] 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

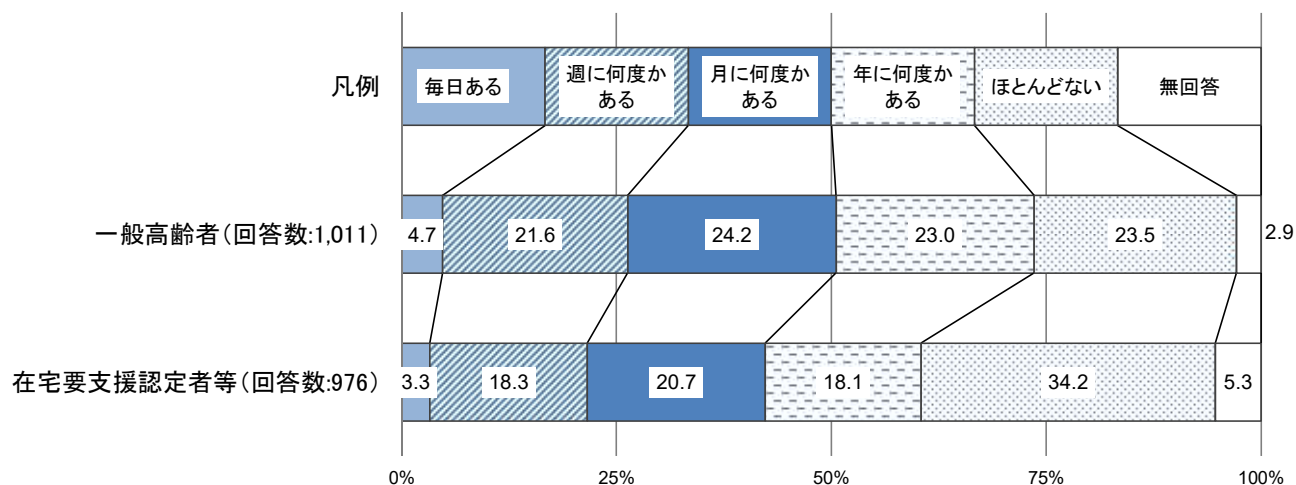


○一般高齢者では「そのような人はいない」が 45.3%、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が 26.8%、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)・市役所」が 14.3%などとなっている。在宅要支援認定者等では「ケアマネジャー」が 41.5%で最も多く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が 25.7%、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)・市役所」が 24.0%などとなっている。

(3) 友人関係について

【1 会う頻度】

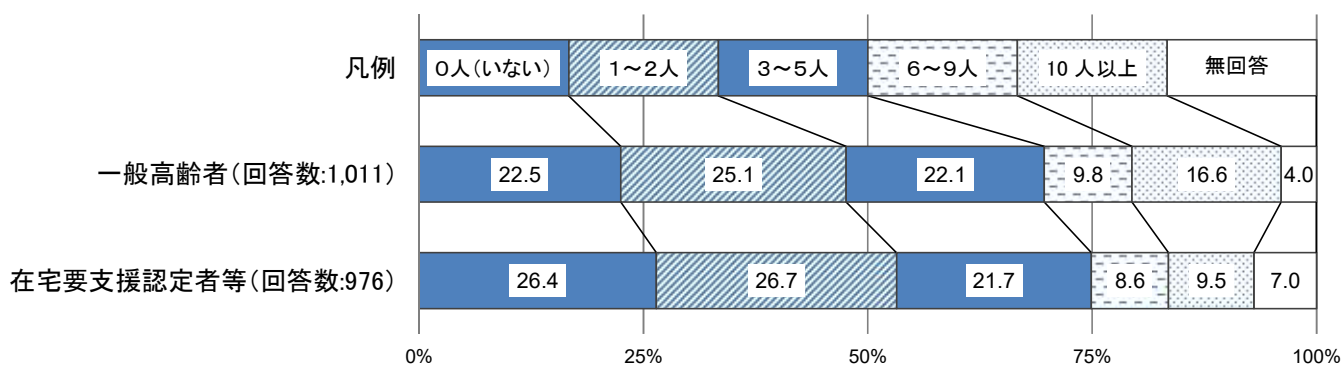
[設問] 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。



○一般高齢者では「月に何度かある」が24.2%で最も多く、次いで「ほとんどない」が23.5%、「年に何度かある」が23.0%などとなっている。在宅要支援認定者等では「ほとんどない」が34.2%で最も多く、次いで「月に何度かある」が20.7%、「週に何度かある」が18.3%、「年に何度かある」が18.1%などとなっている。

【2 この1か月に会った人数】

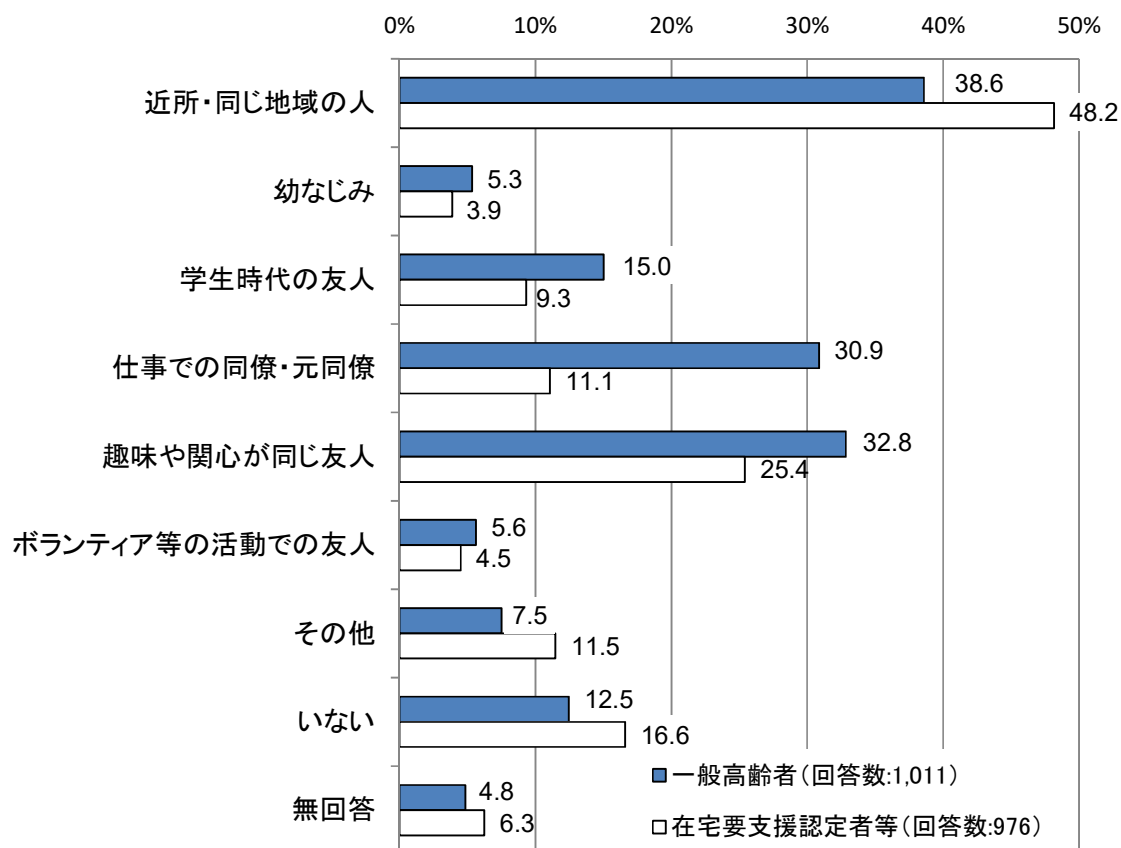
[設問] この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「1~2人」がそれぞれ25.1%、26.7%で最も多く、次いで「0人(いない)」が22.5%、26.4%、「3~5人」が22.1%、21.7%などとなっている。一般高齢者では「10人以上」が16.6%と在宅要支援認定者等の9.5%を7.1ポイント上回っている。

【3 よく会う友人・知人】

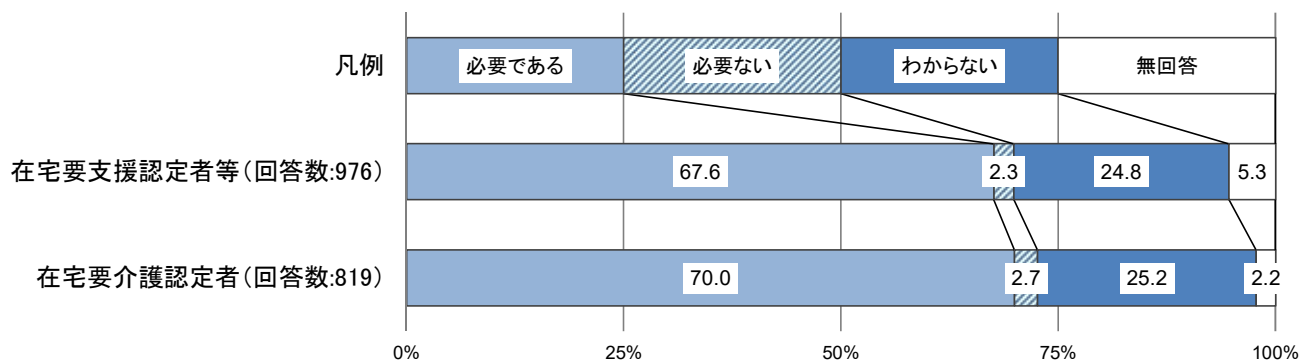
[設問]よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともには「近所・同じ地域の人」がそれぞれ 38.6%、48.2%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 32.8%、25.4%などとなっている。一般高齢者では「仕事での同僚・元同僚」が 30.9%と在宅要支援認定者等の 11.1%を 19.8 ポイント上回っている。

(4) 隣近所や地域で高齢者を支えることの必要性 [地域交流・ボランティアについて (在宅要支援認定者等では問 H、在宅要介護認定者調査では問 B)]

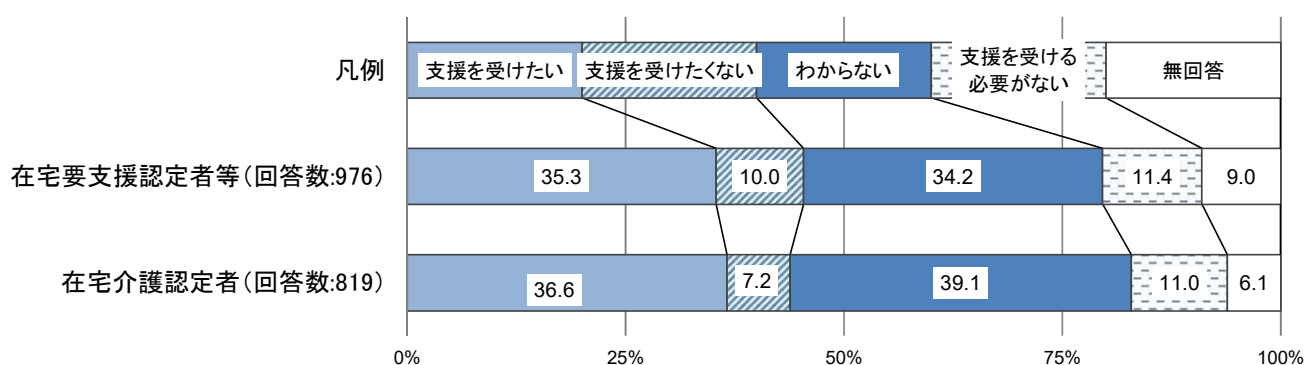
[設問] 独居世帯や高齢者世帯が近年増えていますが、隣近所や地域で高齢者を支えることが必要だと思いますか。



○「必要である」が在宅要支援認定者等で 67.6%、在宅要介護認定者で 70.0%となっている。

(5) 地域のボランティア活動による支援を受ける意思 [地域交流・ボランティアについて (在宅要支援認定者等では問 H、在宅要介護認定者調査では問 B)]

[設問] 高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、支援を受けてみたいと思いますか。

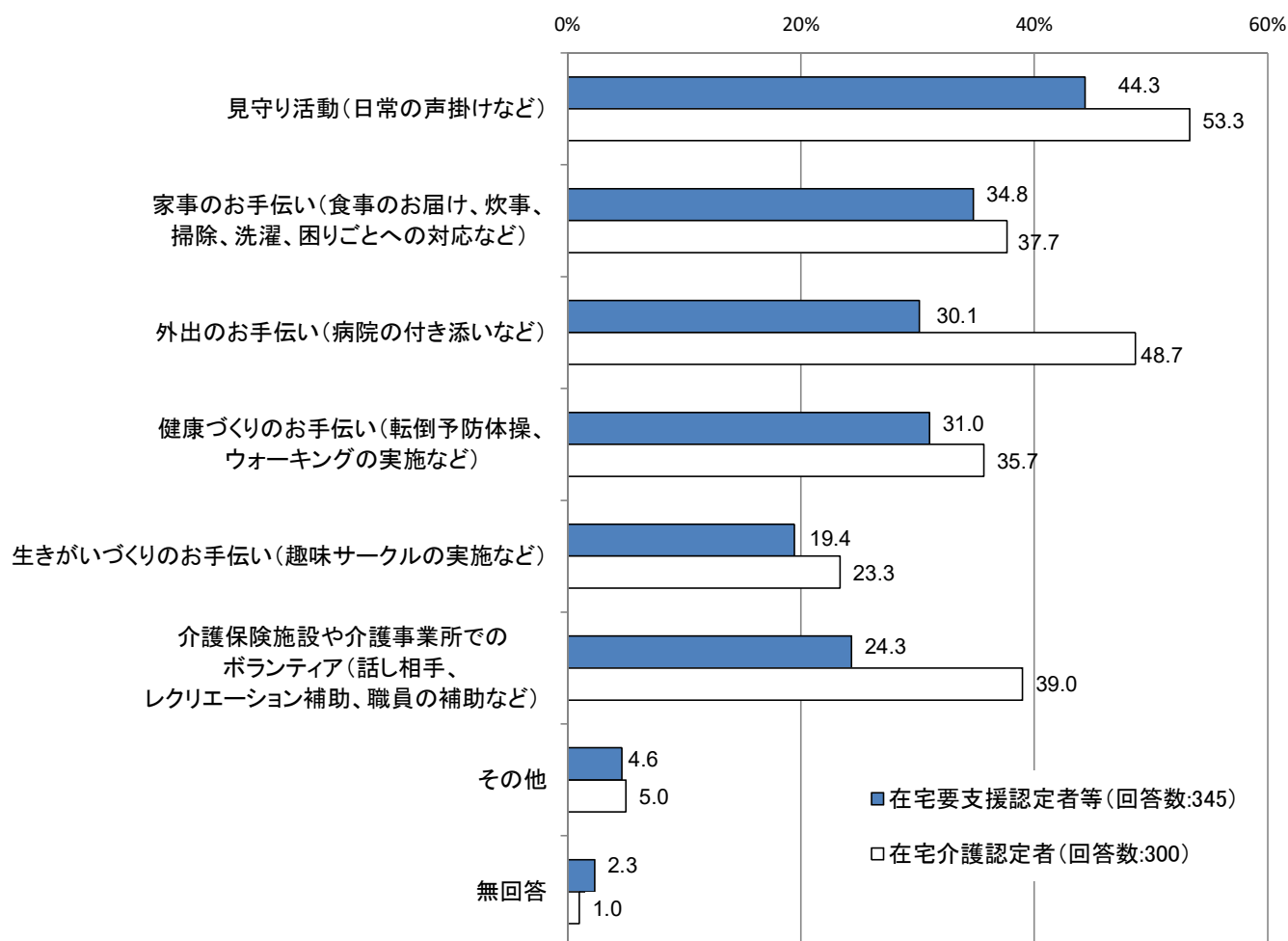


○在宅要支援認定者等では「支援を受けたい」が 35.3%、在宅要介護認定者では「わからない」が 39.1%でそれぞれ最も多くなっている。次いで在宅要支援認定者等では「わからない」が 34.2%、在宅要介護認定者では「支援を受けたい」が 36.6%となっている。

(6) 利用したい支援〔地域交流・ボランティアについて〕

(在宅要支援認定者等調査では問H、在宅要介護認定者調査では問B)

〔設問〕 高齢者を支える地域のボランティア活動で、どの支援を利用したいですか。(〇はいくつでも)

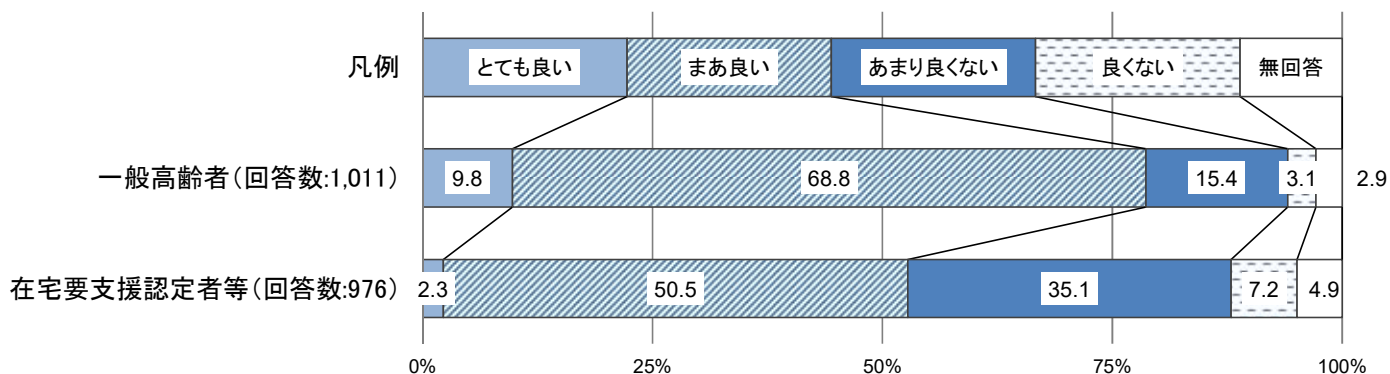


○在宅要支援認定者等では「見守り活動(日常の声掛けなど)」が44.3%で最も多く、次いで「家事のお手伝い(食事のお届け、炊事、掃除、洗濯、困りごとへの対応など)」が34.8%、「健康づくりのお手伝い(転倒予防体操、ウォーキングの実施など)」が31.0%などとなっている。在宅要介護認定者では「見守り活動(日常の声掛けなど)」が53.3%で最も多く、次いで「外出のお手伝い(病院の付き添いなど)」が48.7%、「介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーション補助、職員の補助など)」が39.0%などとなっている。

7 健康について(問G)

(1) 健康状態

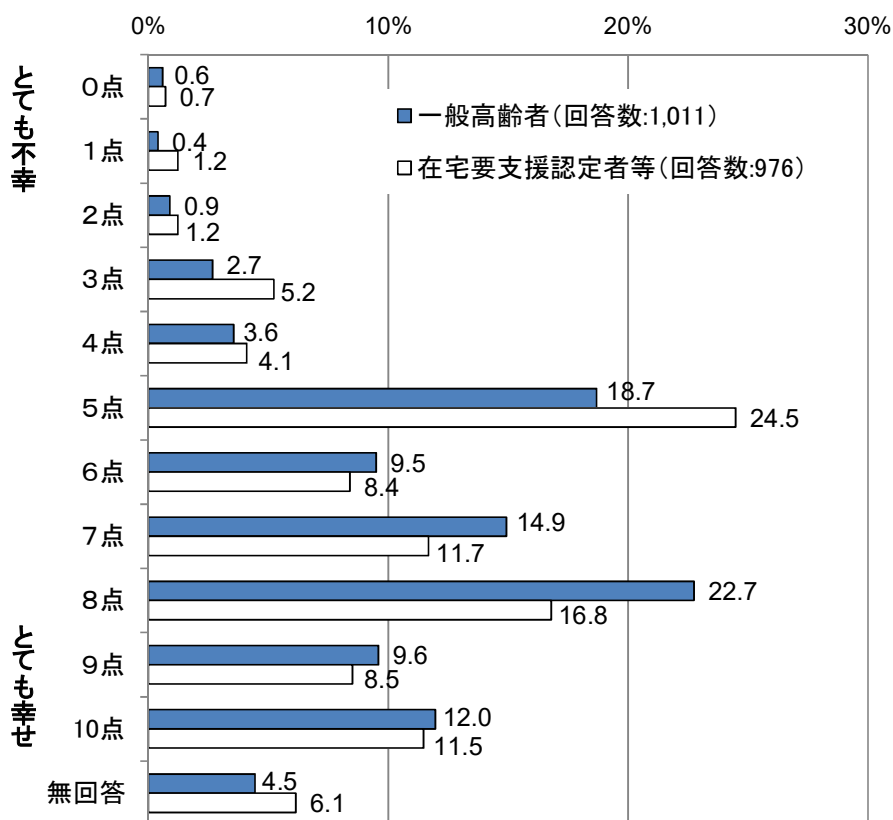
[設問] 現在のあなたの健康状態はいかがですか。



○「とても良い」「まあ良い」を合わせると、一般高齢者では78.6%、在宅要支援認定者等では52.8%と25.8ポイントの差がある。

(2) 現在の幸福度

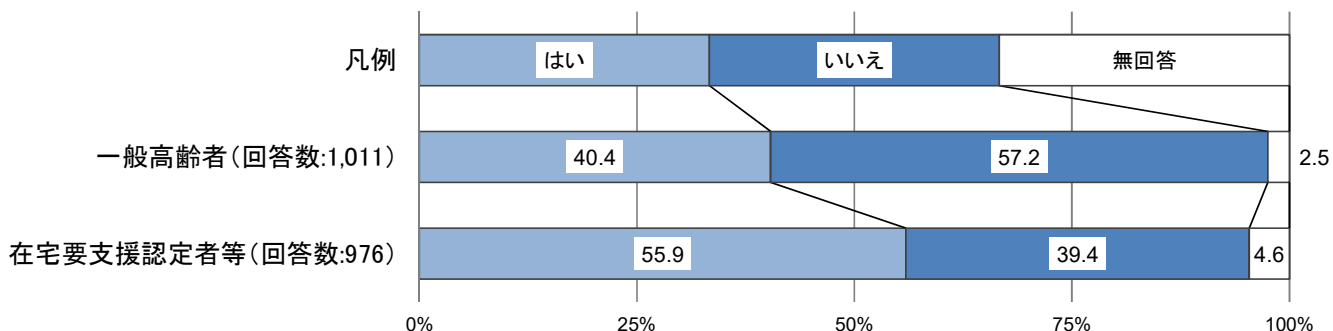
[設問] あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数を「○」で囲んでください。



○一般高齢者では「8点」が22.7%、在宅要支援認定者等では「5点」が24.5%でそれぞれ最も多くなっている。加重平均値は、一般高齢者が6.99点、在宅要支援認定者等は6.56点となっている。
※加重平均: 値を単純に平均するのではなく、値の重みを加味して平均すること。

(3) 最近のうつ傾向の有無

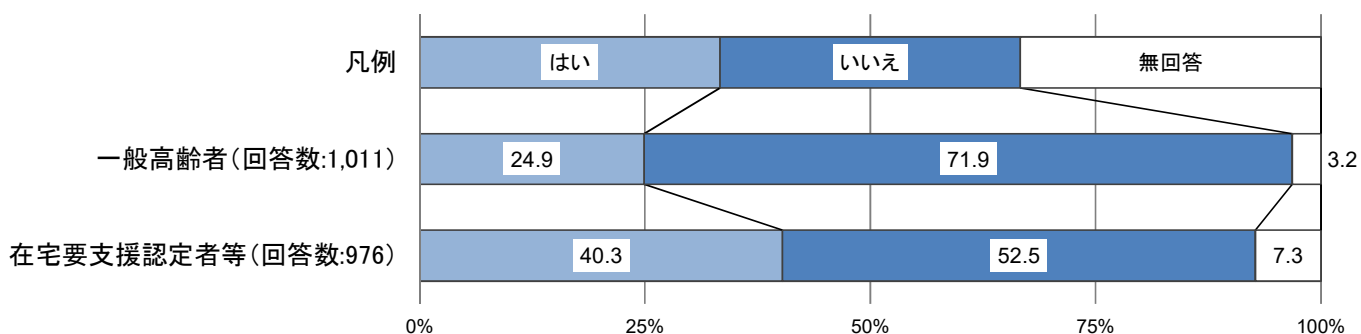
[設問] この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



○「はい」が、一般高齢者では 40.4%であるのに対して、在宅要支援認定者等では 55.9%と、15.5 ポイントの差がみられる。

(4) 最近の心の疲れの有無

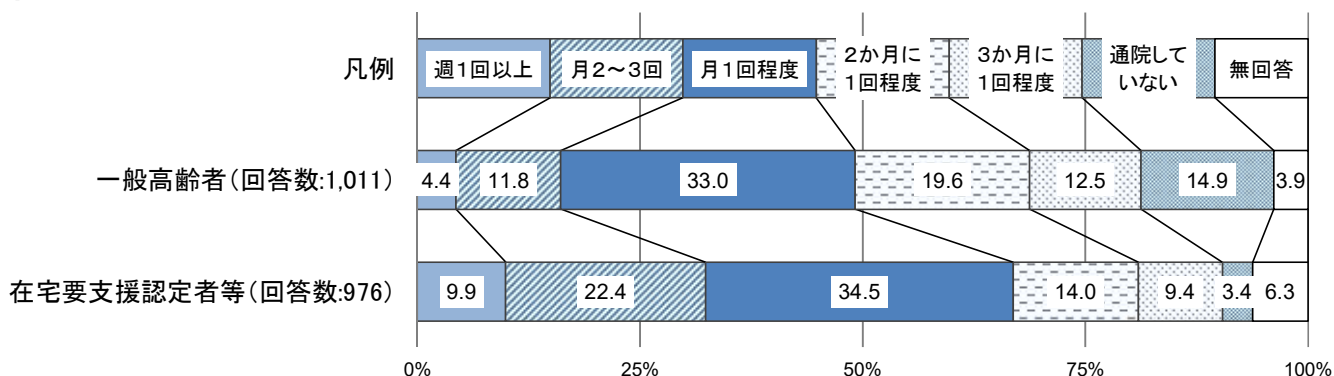
[設問] この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



○「はい」が、一般高齢者では 24.9%であるのに対して、在宅要支援認定者等では 40.3%と、15.4 ポイントの差がみられる。

(5) 通院の状況・頻度

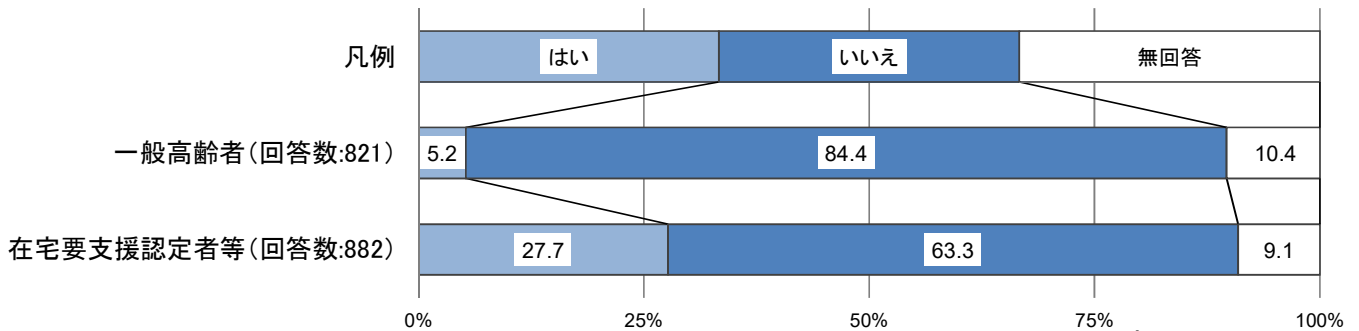
[設問] 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。また、その頻度はどれくらいですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも「月に1回程度」が最も多く、それぞれ 33.0%、34.5%、次いで一般高齢者では「2か月に1回程度」が 19.6%、「通院していない」が 14.9%、在宅要支援認定者等では「月2~3回」が 22.4%、「2か月に1回程度」が 14.0%などとなっている。

(6) 通院時の介助の必要性

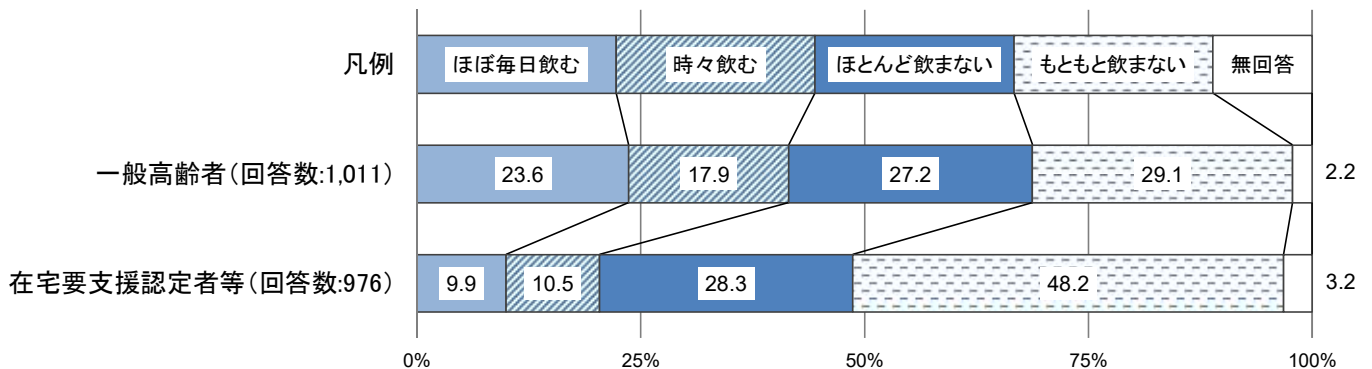
[設問] (現在、通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか。



○「はい」が一般高齢者では5.2%であるのに対して、在宅要支援認定者等では27.7%と、22.5ポイントの差がみられる。

(7) 飲酒

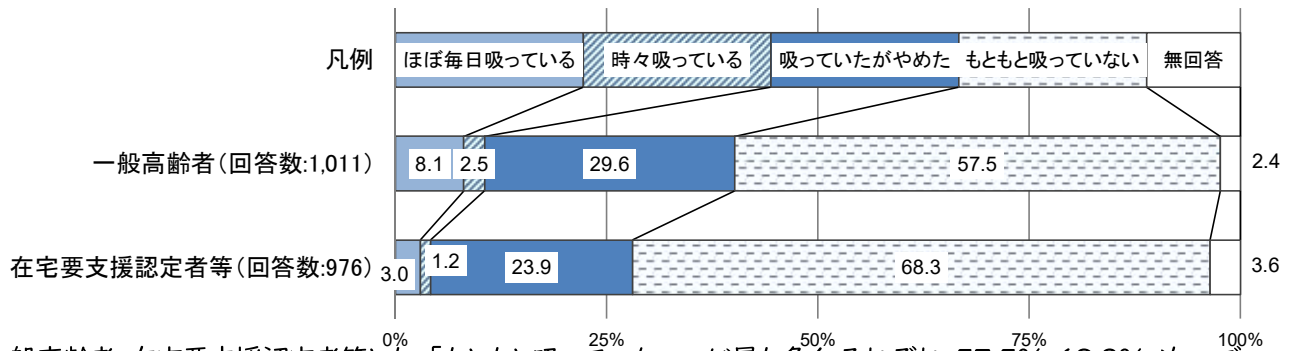
[設問] お酒は飲みますか。



○一般高齢者では「もともと飲まない」が29.1%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が27.2%、「ほぼ毎日飲む」が23.6%、在宅要支援認定者等では「もともと飲まない」が48.2%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が28.3%、「時々飲む」が10.5%などとなっている。

(8) 喫煙

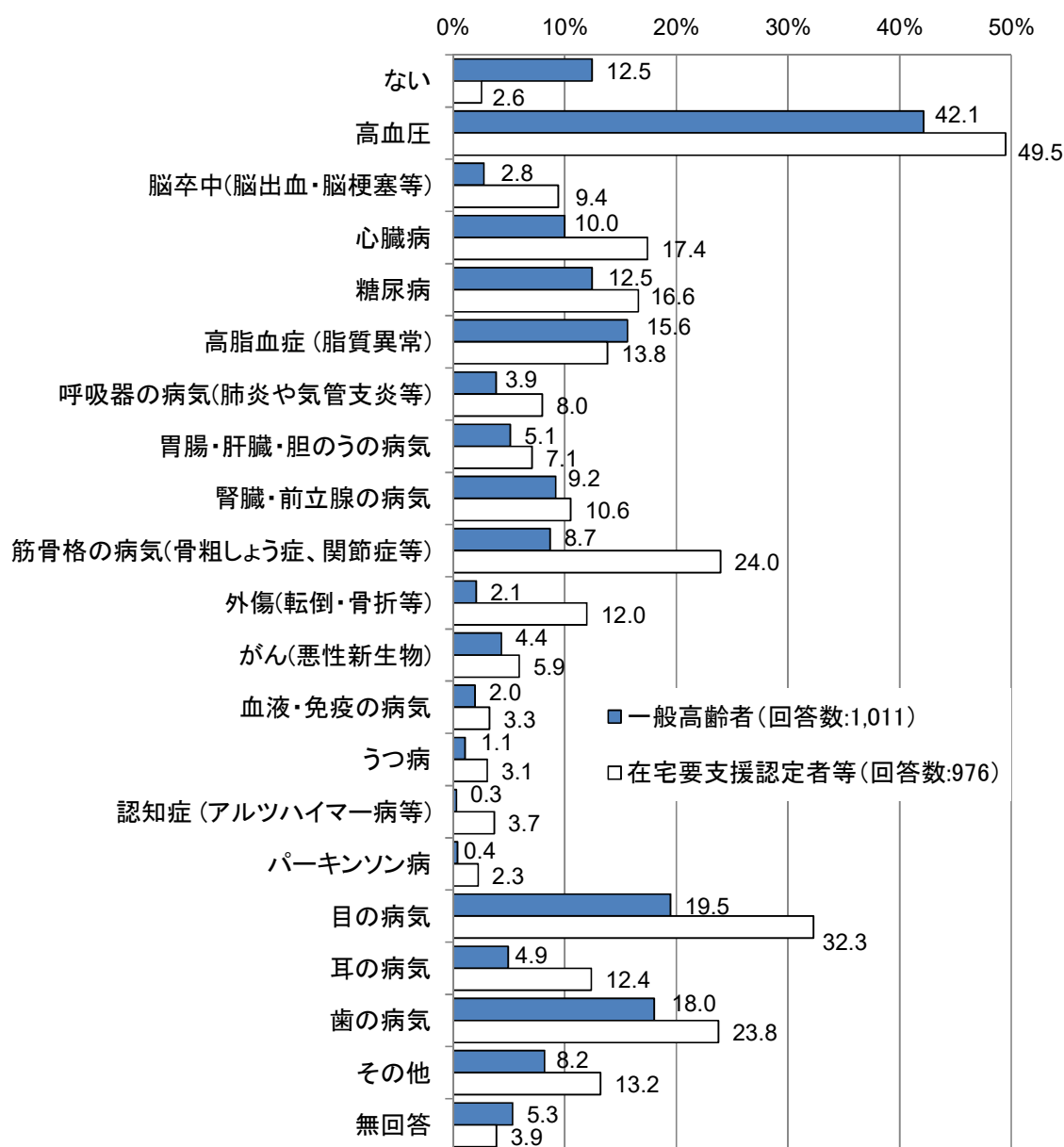
[設問] タバコは吸っていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「もともと吸っていない」が最も多く、それぞれ57.5%、68.3%、次いで「吸っていたがやめた」がそれぞれ29.6%、23.9%などとなっている。

(9) 治療中や後遺症のある病気

[設問] 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

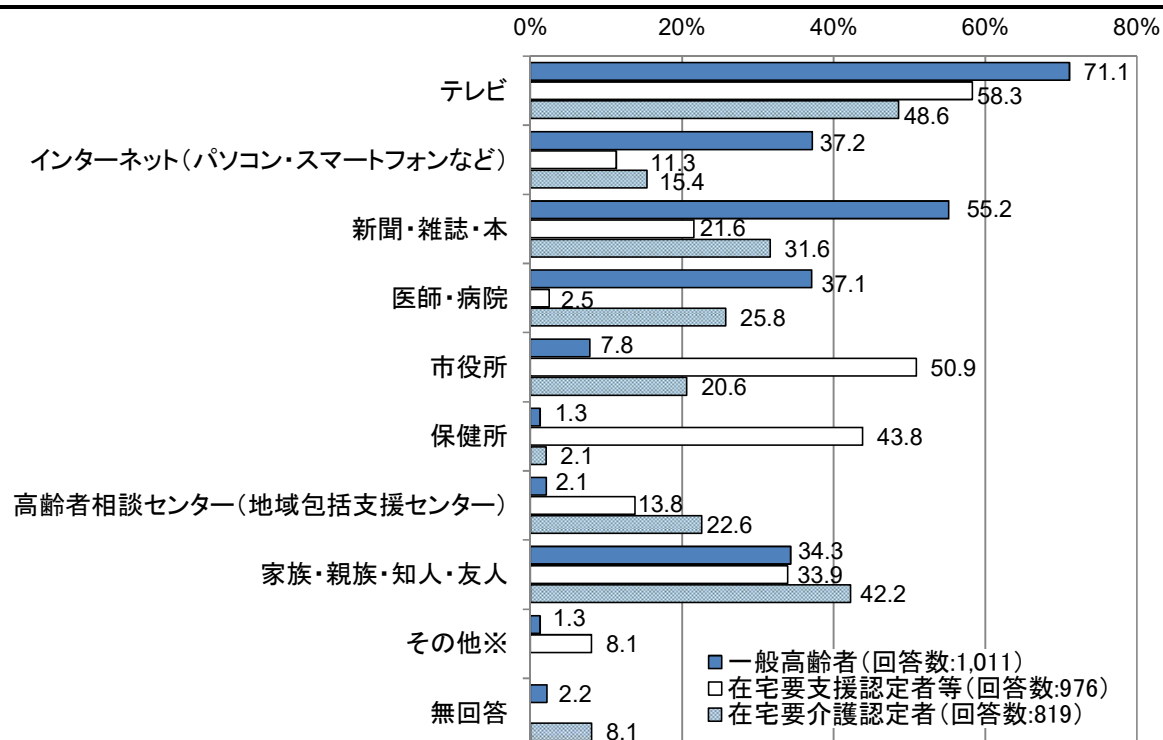


○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「高血圧」が最も多く、それぞれ 42.1%、49.5%、次いでともに「目の病気」がそれぞれ 19.5%、32.3%、第3位は、一般高齢者では「歯の病気」が 18.0%、在宅要支援認定者等では「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が 24.0%などとなっている。とくに「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「外傷(転倒・骨折等)」、「耳の病気」では、一般高齢者と在宅要支援認定者等の差が大きくなっている。

(10) 在宅医療・介護についての知識・情報の入手元

(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)

[設問] 日頃、在宅での医療や介護についての知識や情報を、何から得ていますか。(〇はいくつでも)



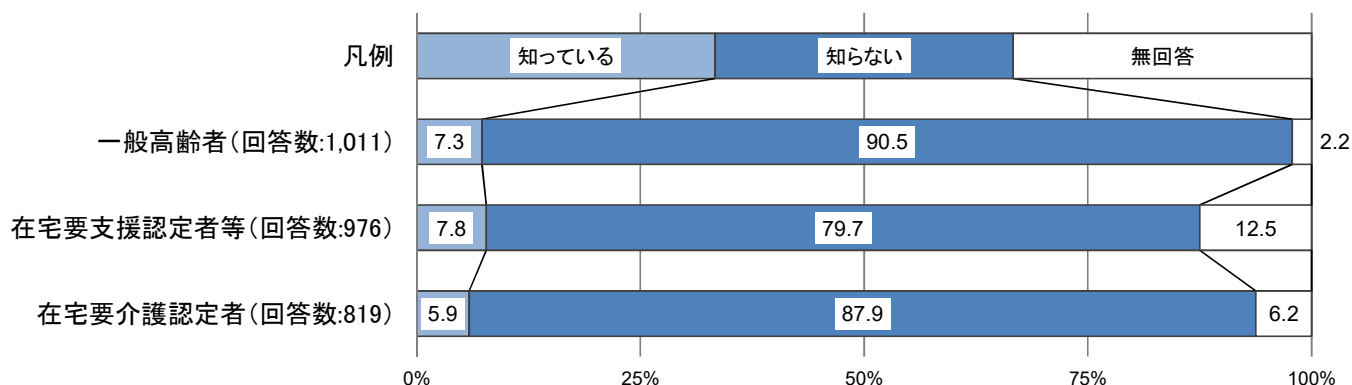
※在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者については、選択肢に「その他」はなし

○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者で共通して「テレビ」が最も多く、それぞれ71.1%、58.3%、48.6%となっている。次いで多いのは、一般高齢者では「新聞・雑誌・本」が55.2%、在宅要支援認定者等では「市役所」が50.9%、在宅要介護認定者では「家族・親族・知人・友人」が42.2%となっている。

(11) 人生会議またはACPという言葉の認知度

(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)

[設問] 人生会議またはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)※という言葉を知っていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「知らない」が多く、それぞれ90.5%、79.7%、87.9%となっている。

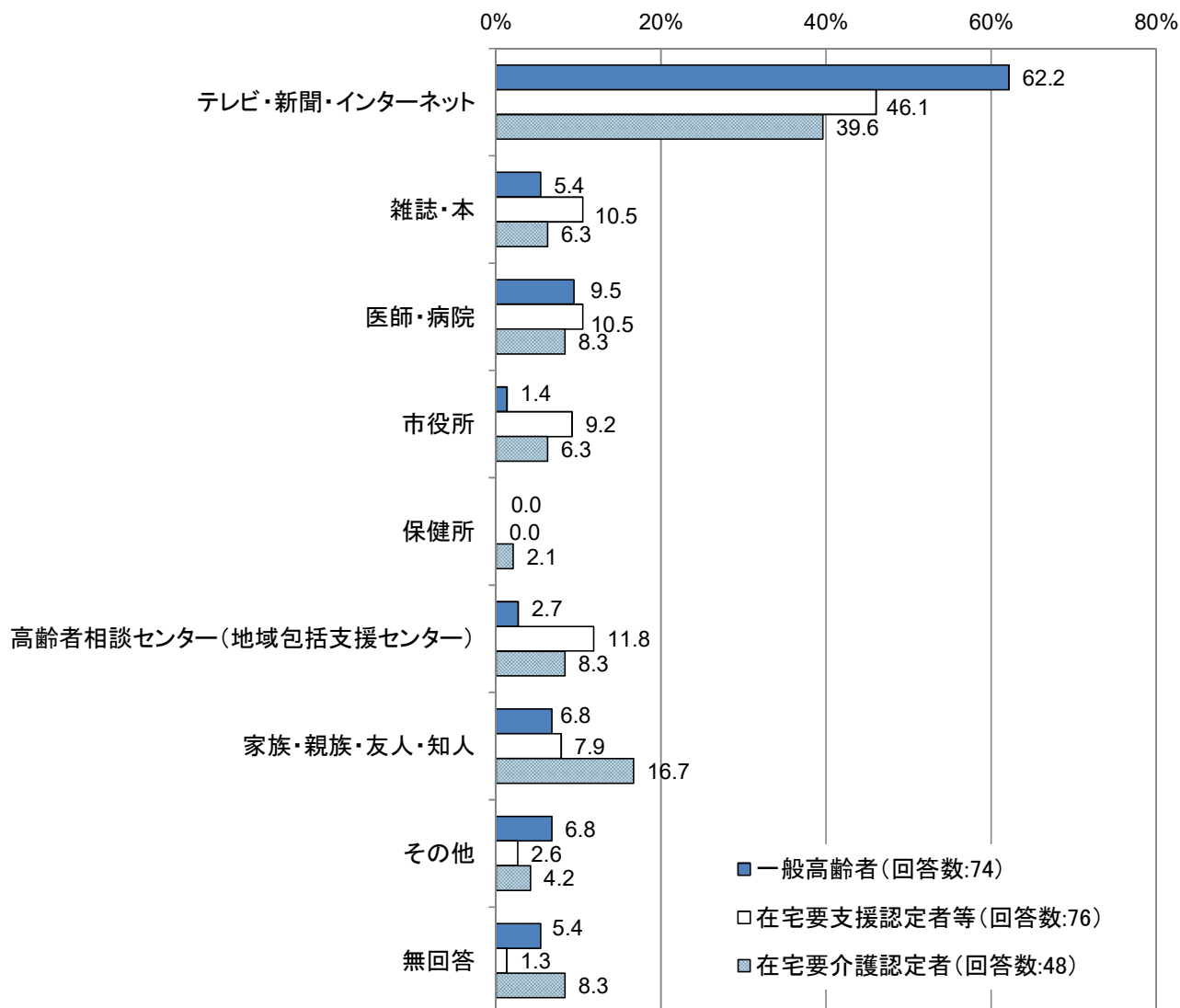
※もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと

(12) 人生会議または ACP という言葉をどこで知ったか

(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)

[設問] (ACPを「知っている」方のみ)

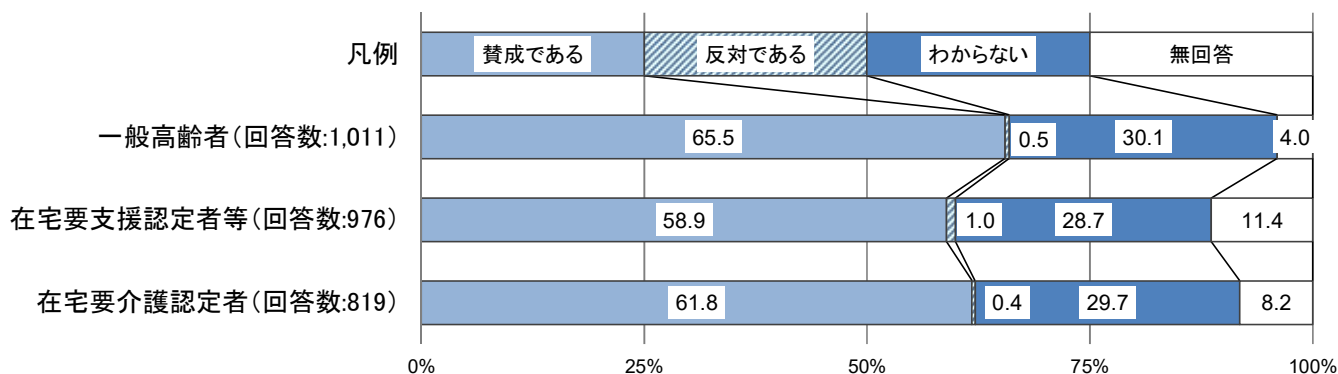
ACPという言葉をどこで知りましたか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「テレビ・新聞・インターネット」が最も多く、それぞれ 62.2%、46.1%、39.6%、次いで一般高齢者では「医師・病院」が 9.5%、在宅要支援認定者等では「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」が 11.8%、在宅要介護認定者では「家族・親族・友人・知人」が 16.7% となっている。

(13) 人生の最終段階の医療・療養について家族や医療・ケアチームと話し合うこと (在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)

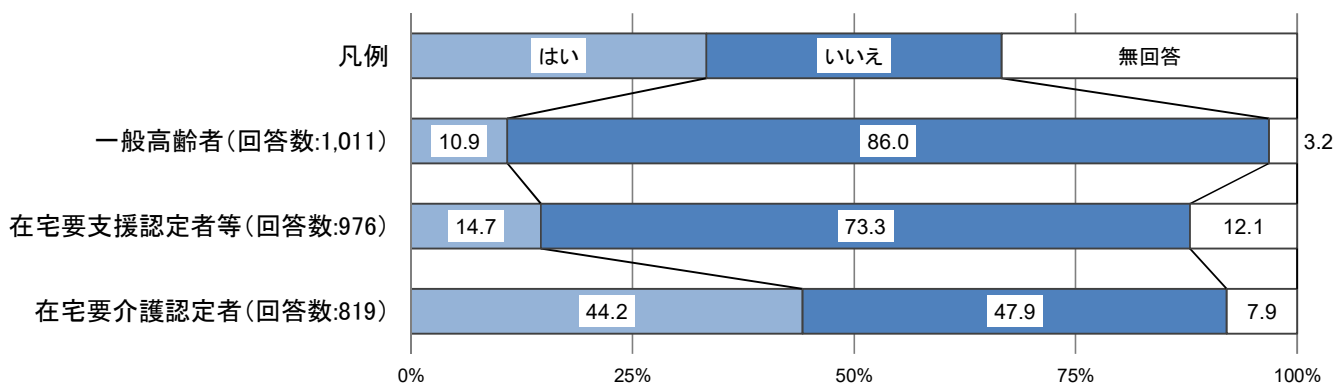
[設問] 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「賛成である」がそれぞれ 65.5%、58.9%、61.8%で最も多くなっている。

(14) 自身、又は家族の認知症の症状の有無 (在宅要支援認定者等では問 L、在宅要介護認定者では問 F)

[設問] 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。

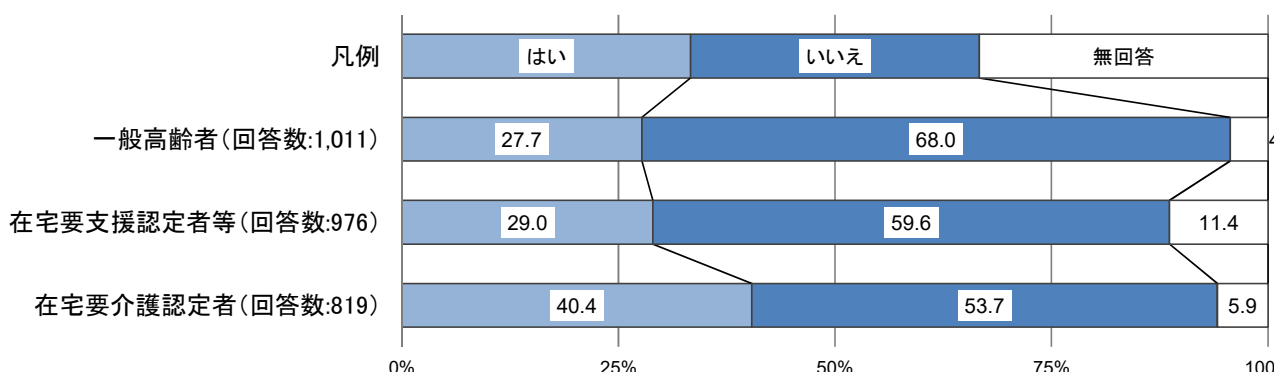


○「はい」が一般高齢者では 10.9%、在宅要支援認定者等では 14.7%であるのに対し、在宅要介護認定者では 44.2%と、大きな差がみられる。

(15) 認知症に関する相談窓口の認知度

(在宅要支援認定者等では問L、在宅要介護認定者では問F)

[設問] 認知症に関する相談窓口を知っていますか。



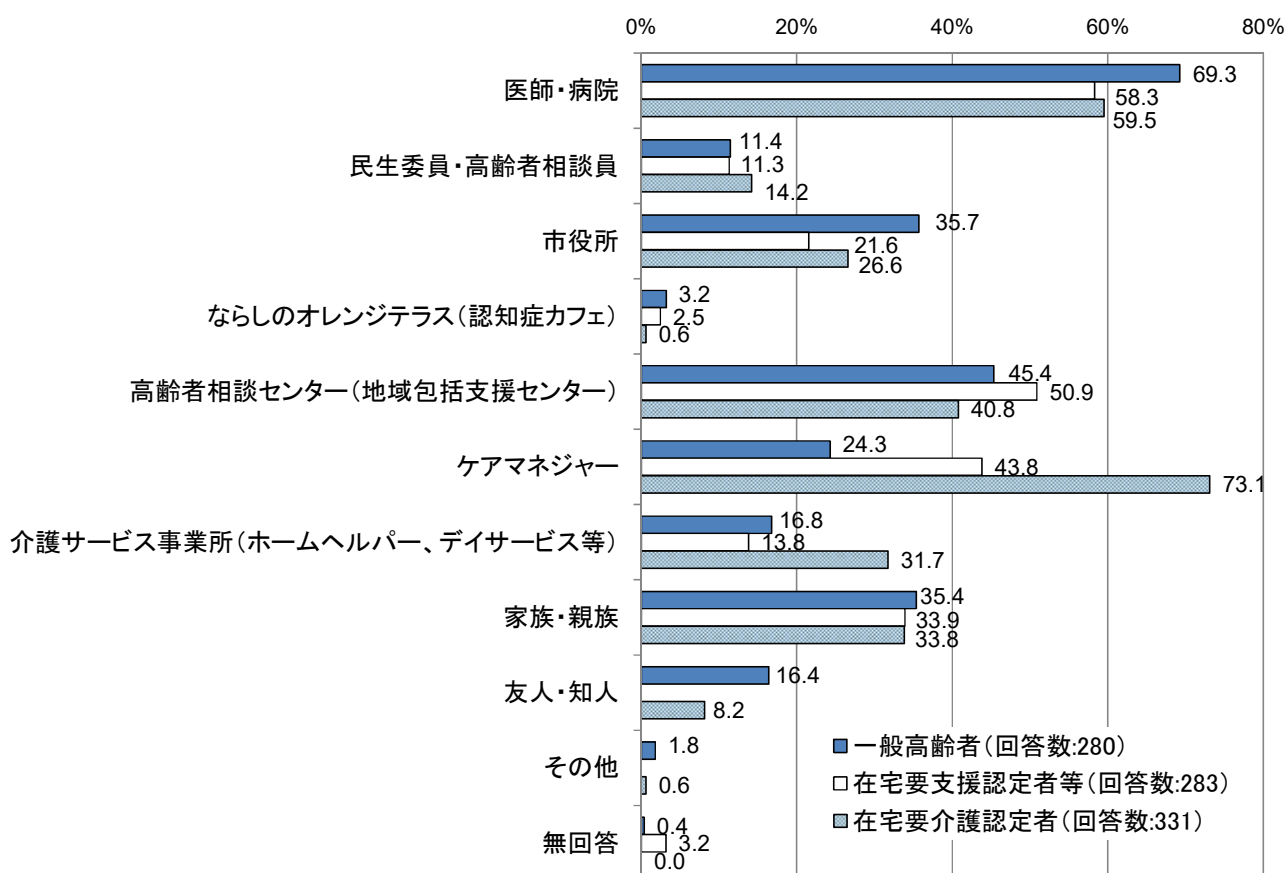
○「はい」が一般高齢者では 27.7%、在宅要支援認定者等では 29.0%に対し、在宅要介護認定者では 40.4%と差がみられる。

(16) 認知症に関する相談窓口

(在宅要支援認定者等では問L、在宅要介護認定者では問F)

[設問] (相談窓口を知っているかについて「はい」の方のみ)

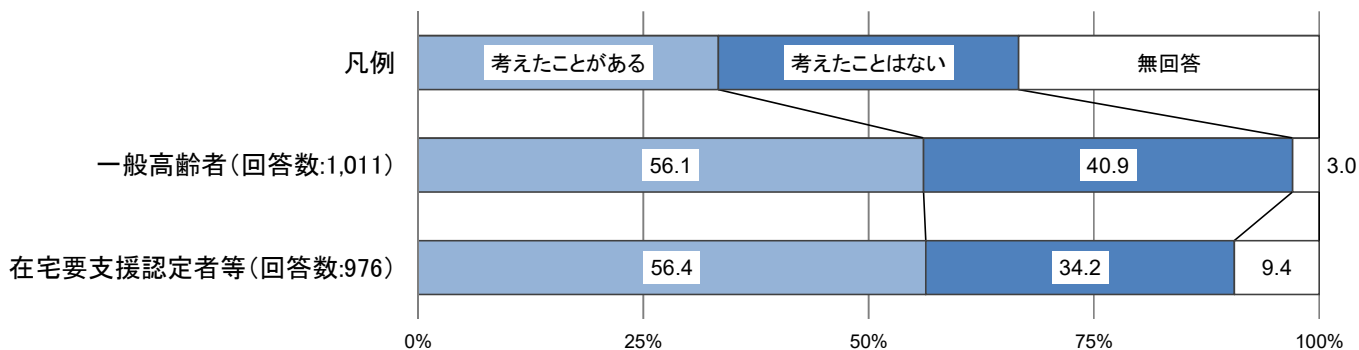
どこに相談すると思いますか、または相談しましたか。(○はいいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「医師・病院」がそれぞれ 69.3%、58.3%、在宅要介護認定者では「ケアマネジャー」が 73.1%と最も多く、次いで一般高齢者、在宅要支援認定者等では「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」がそれぞれ 45.4%、50.9%、在宅要介護認定者では「医師・病院」が 59.5%となっている。

(17) 自身、又は家族が認知症になった場合のことを考えたことの有無
(在宅要支援認定者等では問L)

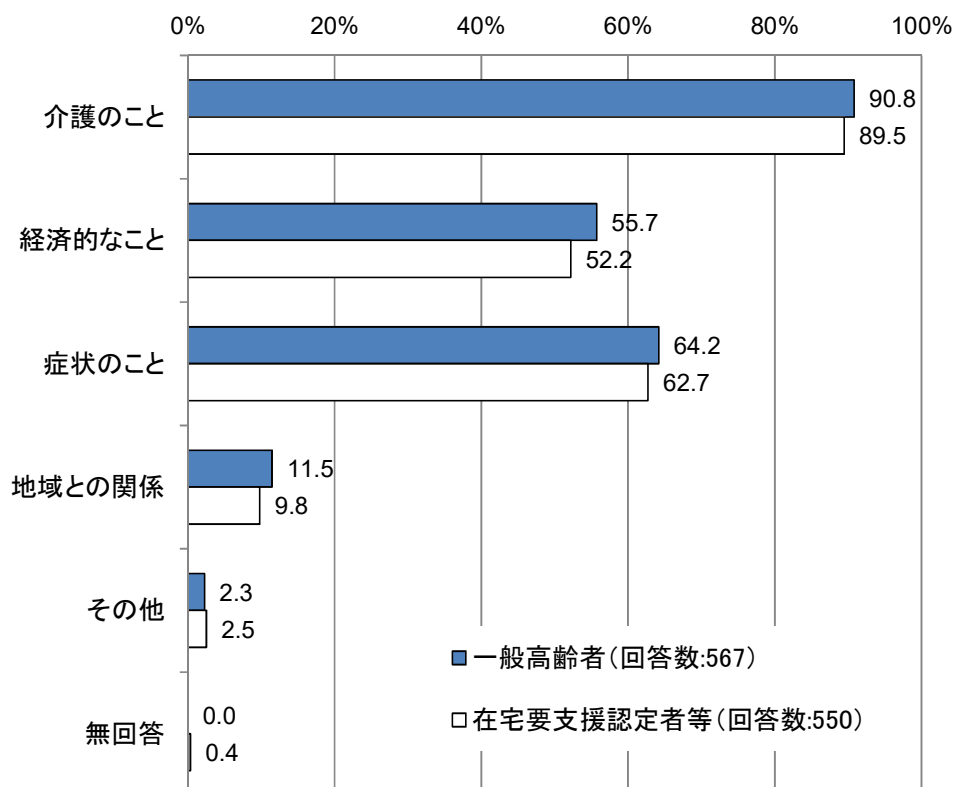
[設問] 今までに、自分自身や家族が認知症になったときどうしたらいいのか、考えたことがありますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも「考えたことがある」が多く、それぞれ 56.1%、56.4%、「考えたことはない」がそれぞれ 40.9%、34.2%となっている。「考えたことがある」割合は、一般高齢者と在宅要支援認定者等でほとんど差異はみられない。

(18) 認知症について考えた内容(在宅要支援認定者等では問L)

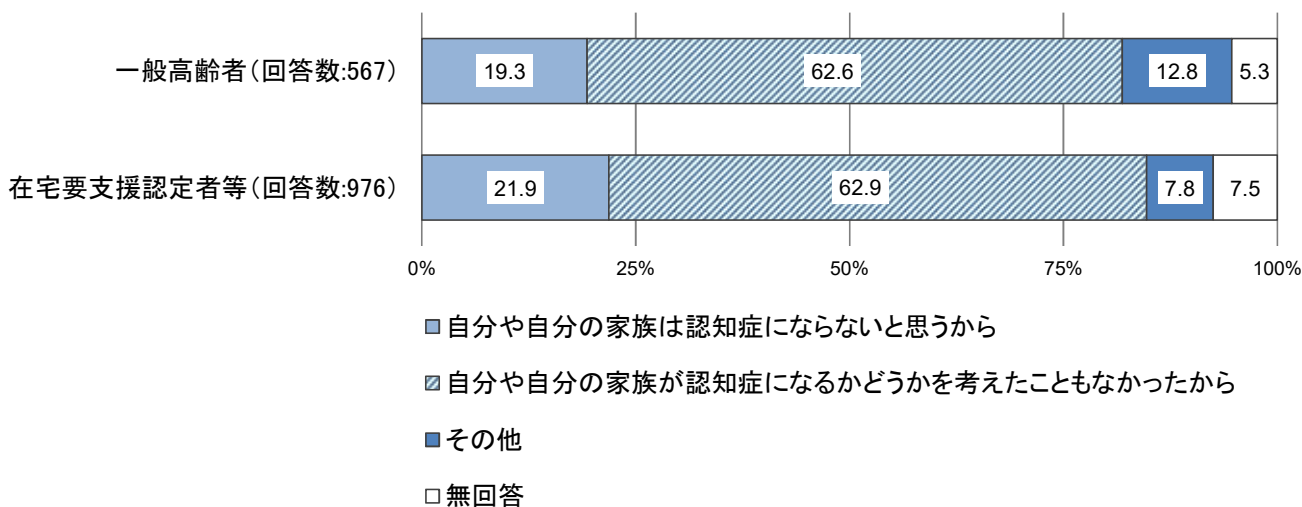
[設問] (自分自身や家族が認知症になった場合のことを「考えたことがある」方のみ) どのようなことを考えましたか。(○はいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「介護のこと」が順に 90.8%、89.5%と最も多く、次いで「症状のこと」が 64.2%、62.7%、「経済的なこと」が 55.7%、52.2%で、両者にほとんど差異はみられない。

(19) 認知症について考えたことがなかった理由(在宅要支援認定者等では問L)

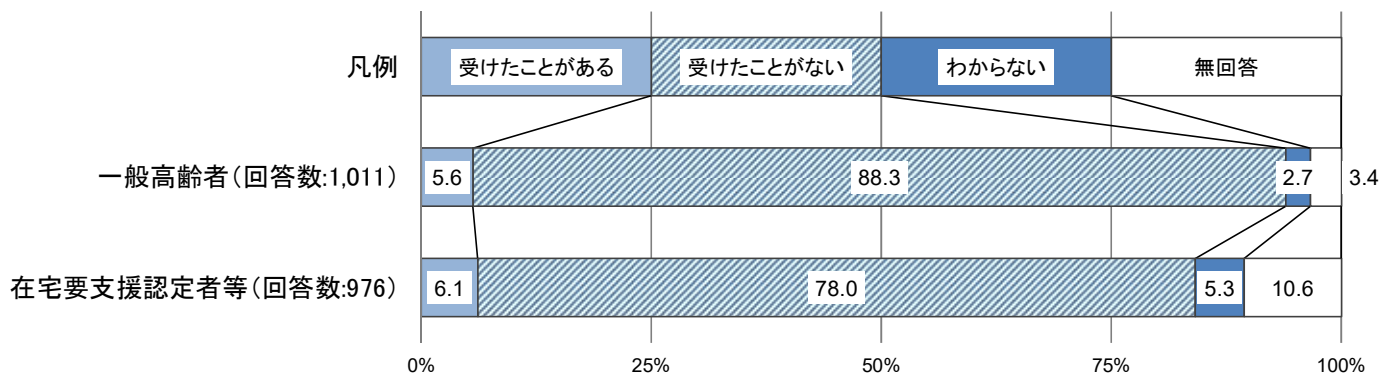
[設問] (自分自身や家族が認知症になった場合のことを「考えたことがない」方のみ)
 考えたことがなかった理由は何だと思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともほとんど差異がなく、「自分や自分の家族は認知症にならないと思うから」がそれぞれ 19.3%、21.9%、「自分や自分の家族が認知症になるかどうかを考えたこともなかったから」は 62.6%、62.9%となっている。

(20) 認知症サポーター養成講座受講の有無(在宅要支援認定者等では問L)

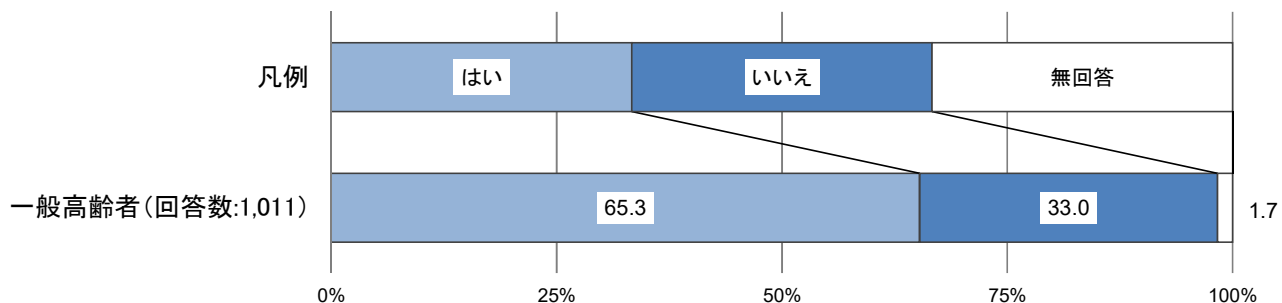
[設問] 認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか。



○いずれも「受けたことがない」が大半を占め、一般高齢者の 88.3%、在宅要支援認定者等の 78.0%が「受けたことがない」と回答している。

(21) 1年以内の健康診査受診の有無

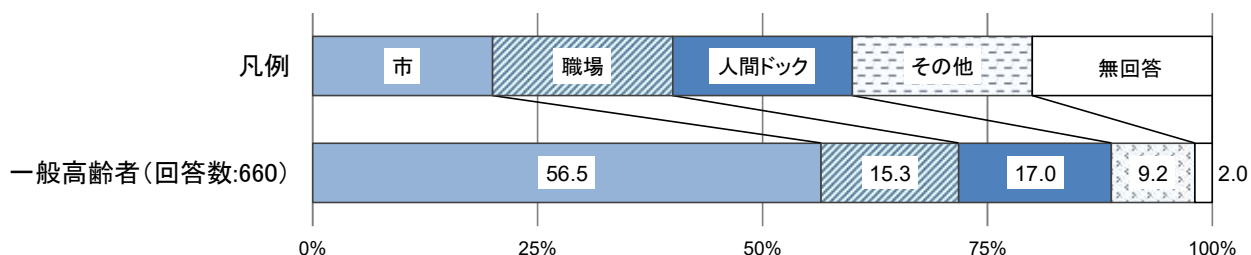
[設問] あなたは、1年以内に健康診査(特定健康診査・後期高齢者健康診査・人間ドック・職場の健診等)を受けましたか。



○65.3%が「はい」、33.0%が「いいえ」と回答している。

(22) 健康診査を受けた場所・機関

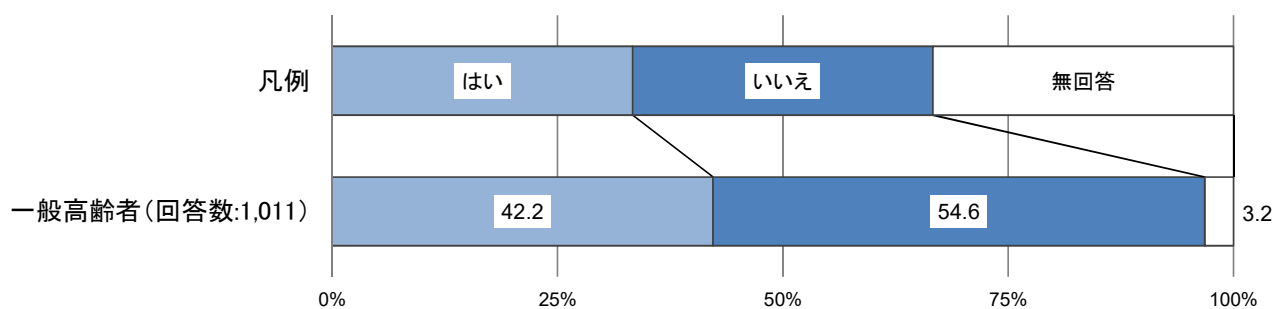
[設問] どちらで健康診査を受けましたか。



○「市」が56.5%で最も多く、次いで「人間ドック」が17.0%、「職場」が15.3%などとなっている。

(23) 1年以内のがん検診受診の有無

[設問] あなたは、1年以内になん検診を受けましたか。

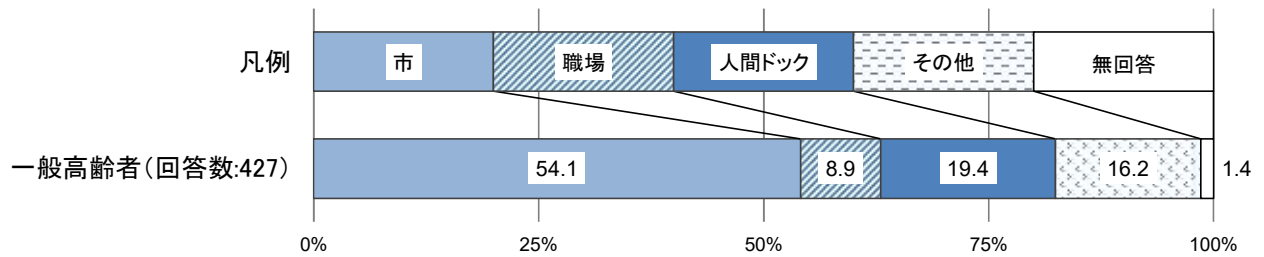


○42.2%が「はい」、54.6%が「いいえ」と回答している。

(24) がん検診を受けた場所・機関

[設問] (がん検診を受けた方のみ)

どちらでがん検診を受けましたか。

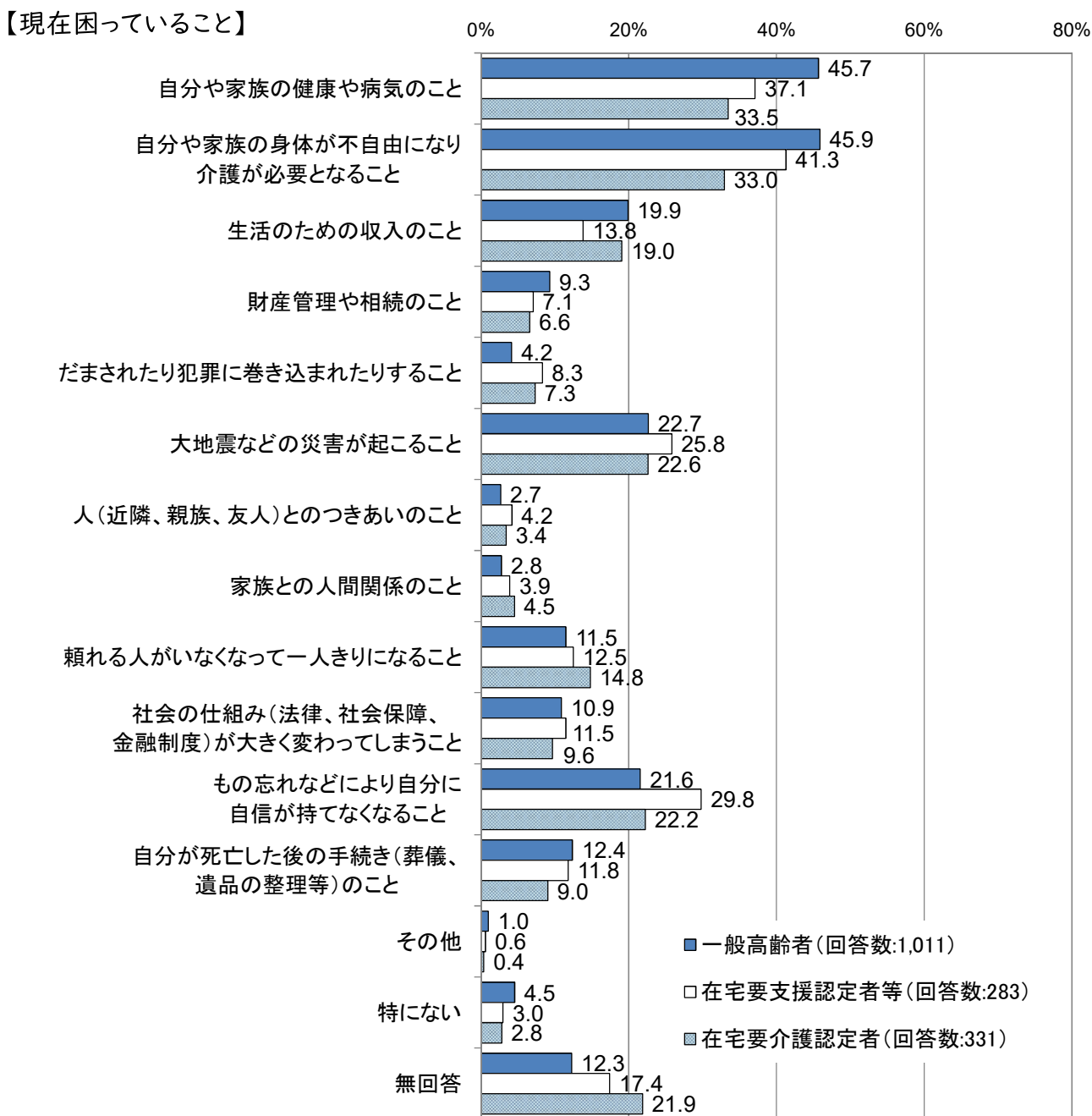


○「市」が54.1%で最も多く、次いで「人間ドック」が19.4%、「その他」が16.2%などとなっている。

8 日常生活で困っていることや将来の不安について(問 H) (在宅要支援認定者等では問 I、在宅要介護認定者では問 C)

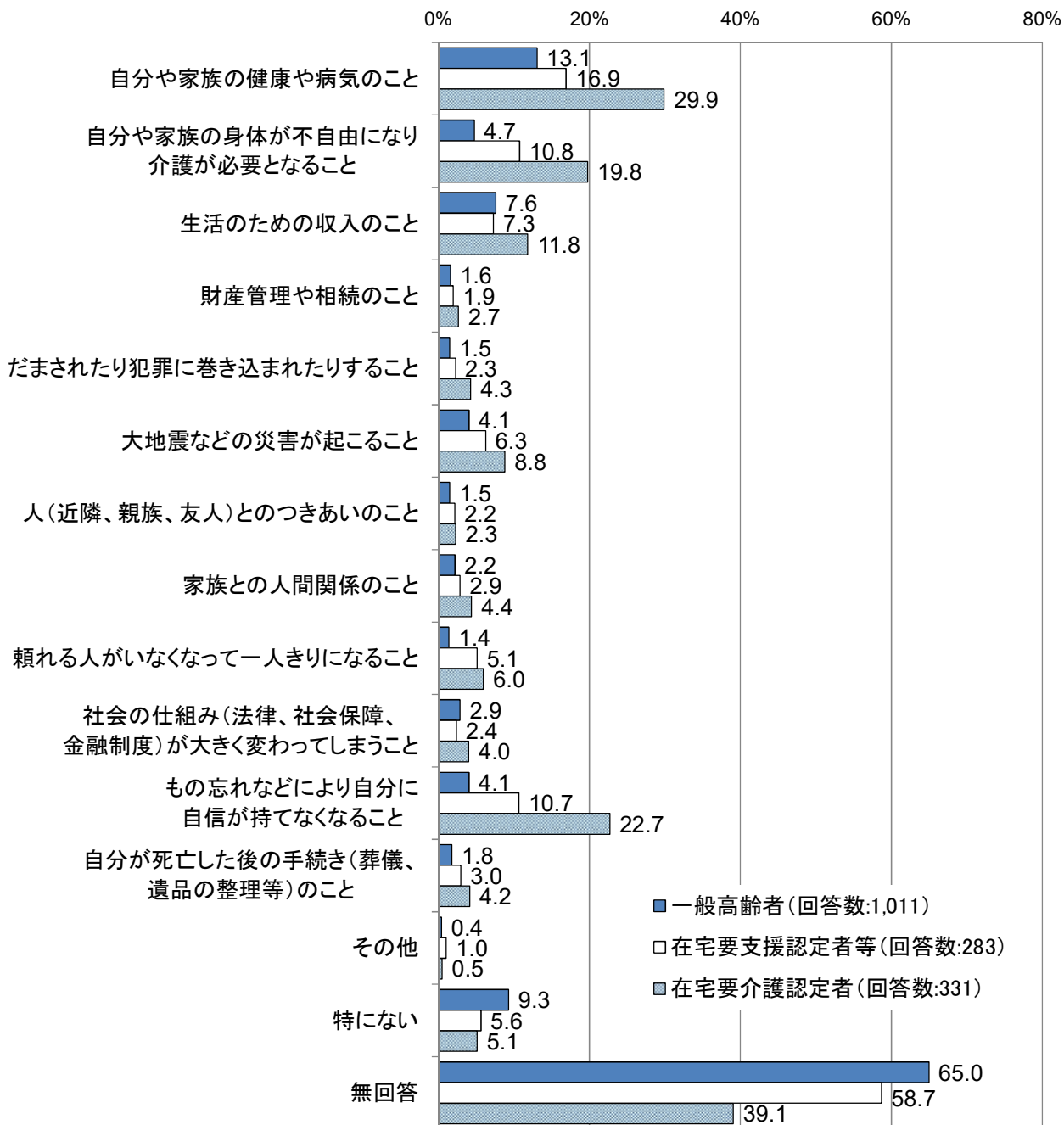
(1) 困っていることや将来の不安

[設問] 現在困っていることと、将来についての不安はありますか。あてはまる欄に○を付けてください。(それぞれ○は3つまで)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等では「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が最も多く、それぞれ 45.9%、41.3%、一方、在宅要介護認定者では「自分や家族の健康や病気のこと」が 33.5%で最も多くなっている。次いで、一般高齢者、在宅要支援認定者等では「自分や家族の健康や病気のこと」が 45.7%、37.1%、在宅要介護認定者では「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が 33.0%などとなっている。

【将来についての不安】



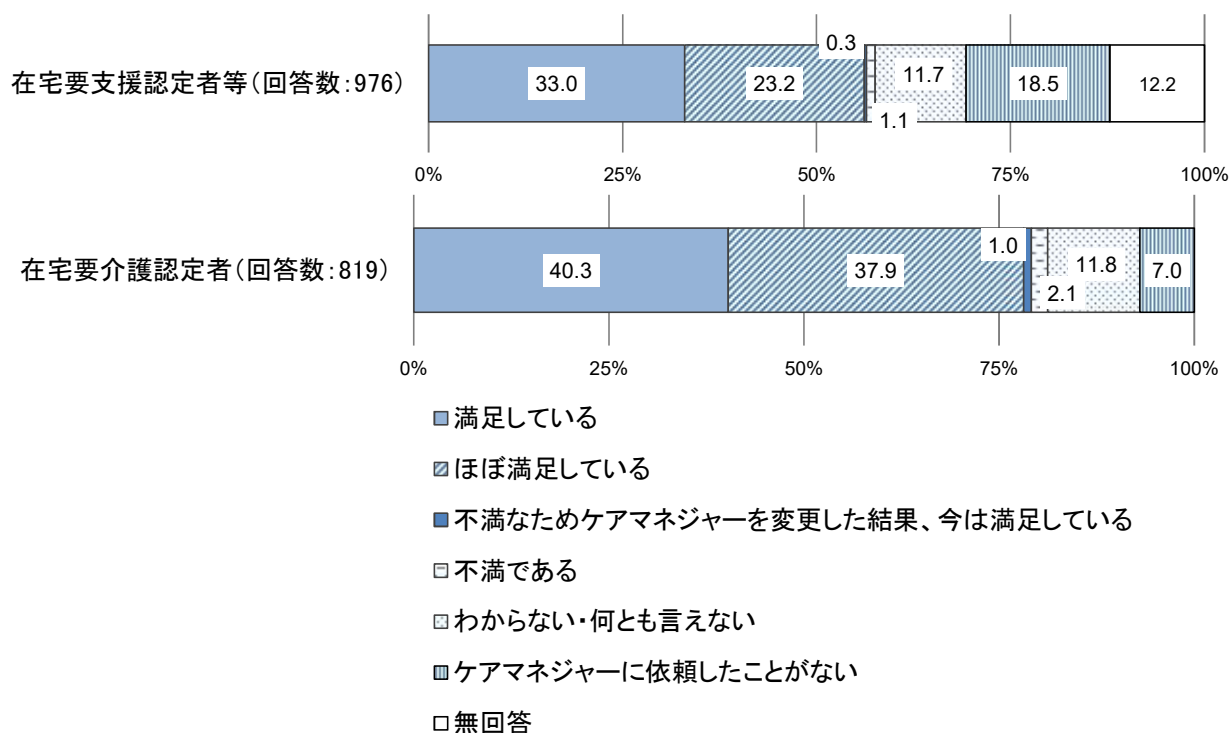
○「無回答」を除き、一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が最も多く、それぞれ 13.1%、16.9%、29.9%、次いで、一般高齢者では「特にない」が 9.3%、在宅要支援認定者等では「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が 10.8%、在宅要介護認定者では「もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること」が 22.7%などとなっている。

9 介護保険制度の利用について

(在宅要支援認定者等調査では問J、在宅要介護認定者調査では問D)

(1) ケアマネジャーの対応の満足度

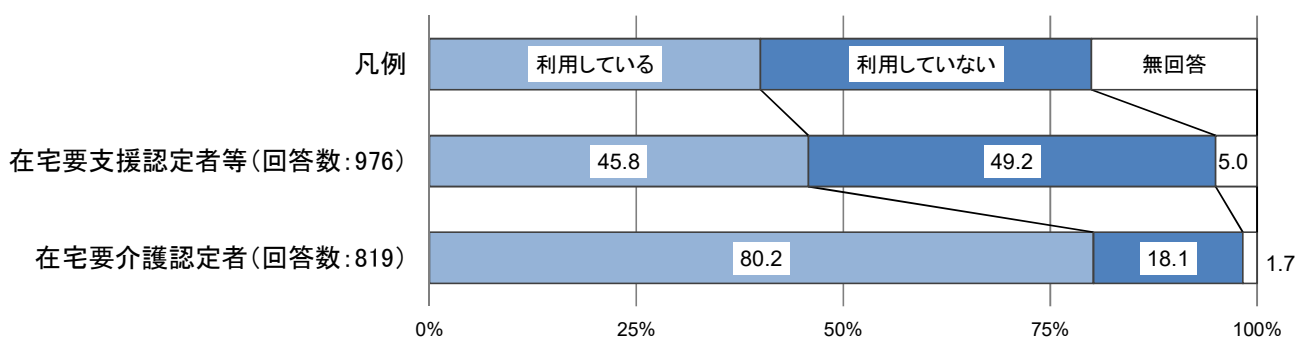
[設問] ケアマネジャーの対応に満足していますか。



○いずれも「満足している」が最も多く、在宅要支援認定者等では33.0%、在宅要介護認定者では40.3%が「満足している」と回答している。「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると、在宅要支援認定者等で56.2%、在宅要介護認定者で78.2%が満足していると回答している。一方、在宅要支援認定者等では「ケアマネジャーに依頼したことがない」が18.5%みられる。

(2) 介護保険サービスの利用状況

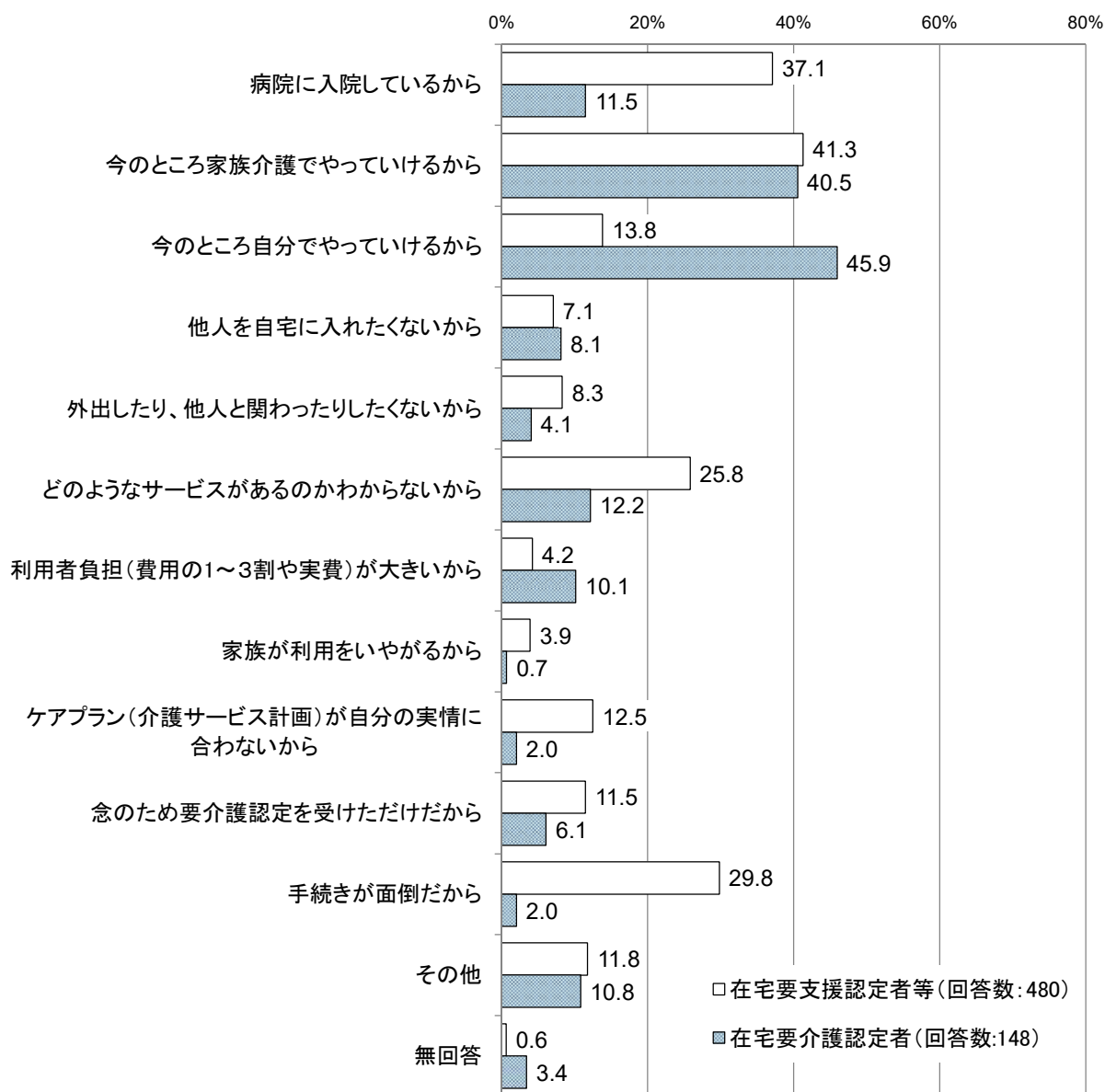
[設問] あなたは、この1か月に介護保険のサービスを利用しましたか。



○在宅要支援認定者等では「利用している」が45.8%に対し、在宅要介護認定者では「利用している」が80.2%と大きな差がみられる。

(3) 利用していない理由

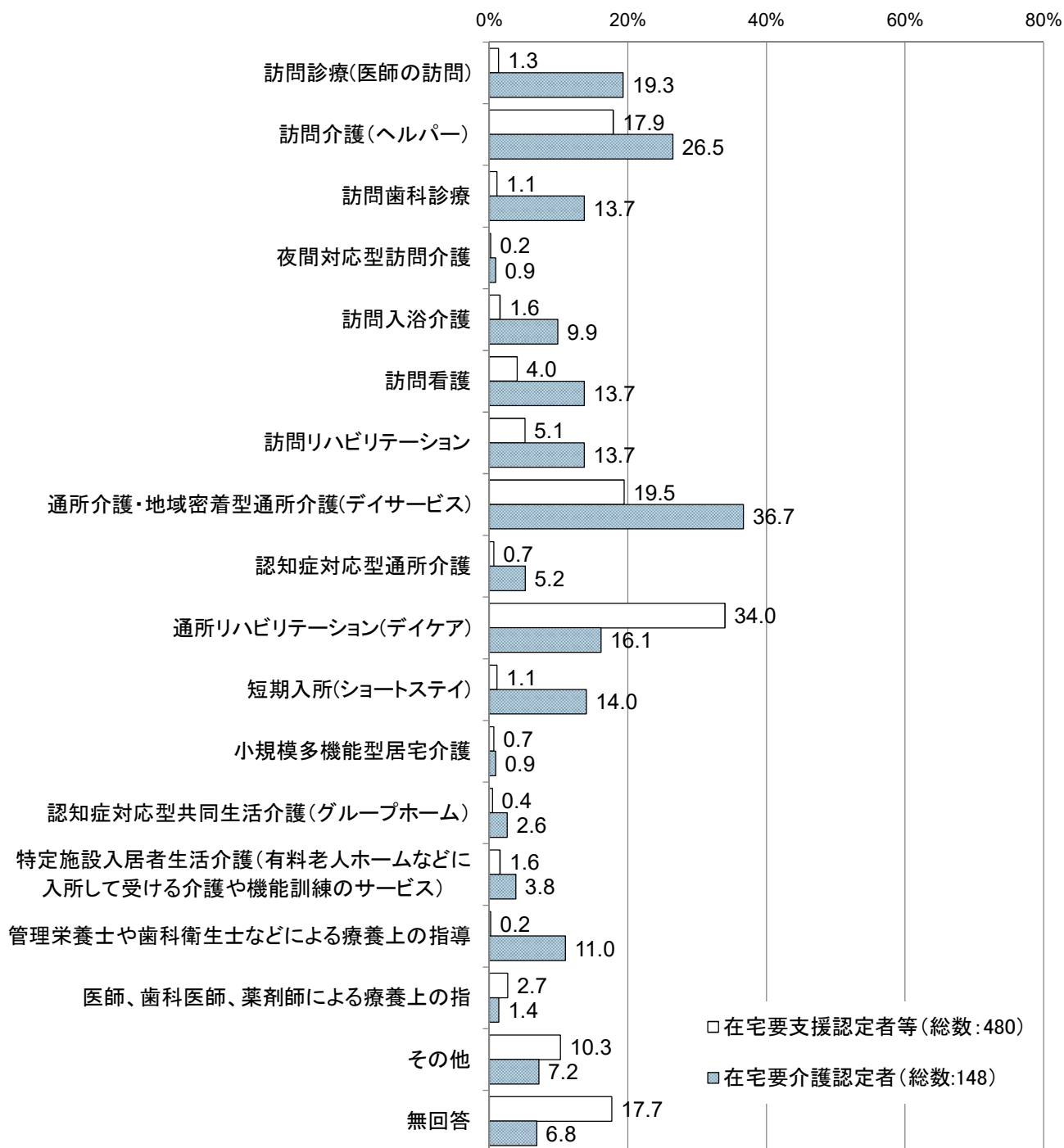
[設問] (介護保険サービスを利用していない方のみ)
 利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



○在宅要支援認定者等では「今のところ家族介護でやっていけるから」が41.3%と最も多く、次いで「病院に入院しているから」が37.1%などとなっている。在宅要介護認定者では「今のところ自分でやっていけるから」が45.9%と最も多く、次いで「今のところ家族介護でやっていけるから」が40.5%、「どのようなサービスがあるのかわからないから」が12.2%などとなっている。

(4) 利用しているサービス

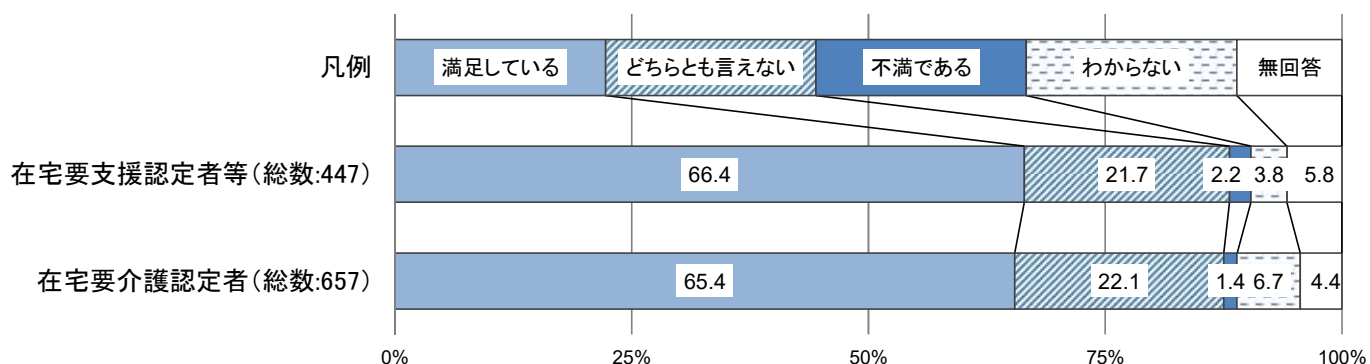
[設問] (介護保険サービスを利用している方のみ)
以下のサービスを利用していますか。(〇はいくつでも)



○在宅要支援認定者等では「通所リハビリテーション(デイケア)」が 34.0%で最も多く、次いで「通所介護・地域密着型通所介護(デイサービス)」が 19.5%、「訪問介護(ヘルパー)」が 17.9%などとなっている。在宅要介護認定者では「通所介護・地域密着型通所介護(デイサービス)」が 36.7%で最も多く、次いで「訪問介護(ヘルパー)」が 26.5%、「訪問診療(医師の訪問)」が 19.3%などとなっている。

(5) 利用しているサービスの満足度

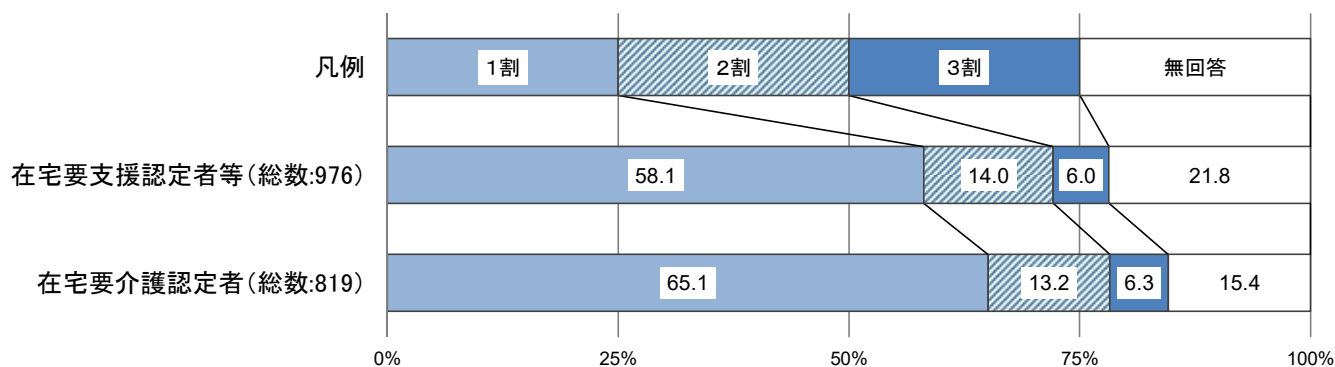
[設問] (介護保険サービスを利用している方のみ)
現在利用しているサービスに満足していますか。



○在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも「満足している」が半数以上を占め、それぞれ 66.4%、65.4%となっている。

(6) サービス利用時の自己負担割合

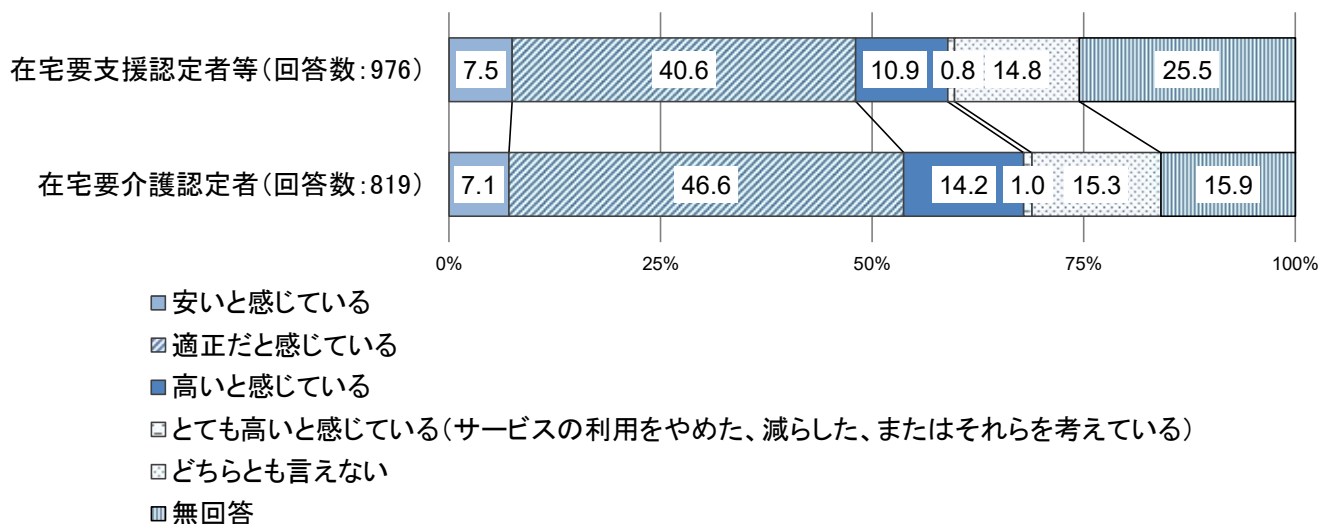
[設問] 介護サービスを受けるためには、所得に応じてサービス利用費用(*食費・居住費を除く)を自己負担していただく必要があります。1割と2割に加えて、平成30年8月から、特に所得の高い方は費用の3割を負担していただくこととなっています。
(1) あなたの自己負担割合をお答えください。



○在宅要支援認定者等では「1割」が 58.1%、「2割」が 14.0%、「3割」が 6.0%、在宅要介護認定者では「1割」が 65.1%、「2割」が 13.2%、「3割」が 6.3%となっている。

(7) 自己負担分についての感覚

[設問] (2) (1) でお答えいただいた費用(自己負担分)について、どのように感じていますか。



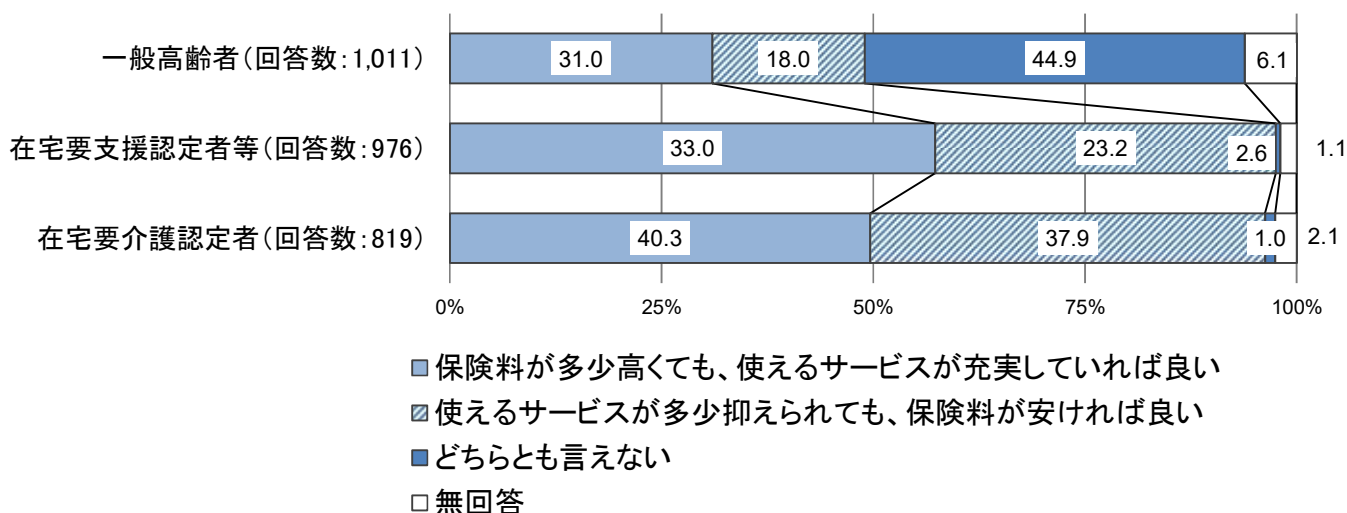
○在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「適正だと感じている」が最も多く、それぞれ 40.6%、46.6%となっている。次いで、「どちらとも言えない」が 14.8%、15.2%、「高いと感じている」が 10.9%、14.2%などとなっている。

10 介護保険制度・高齢者施策について(問 I)

(在宅要支援認定者等調査では問K、在宅要介護認定者調査では問 E)

(1) 介護保険料と介護サービスのあり方について

【設問】介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。



○「どちらともいえない」が一般高齢者で 44.9%、「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していればよい」が在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者でそれぞれ 33.0%、40.3%と最も多く、次いで「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が一般高齢者で 31.0%、「使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い」が在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者でそれぞれ 23.2%、37.9%となっている。

【経年比較】

〈一般高齢者〉

単位：%

	保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い	使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い	どちらとも言えない	無回答
令和4年度 (回答数1,011)	31.0	18.0	44.9	6.1
令和元年度 (回答数917)	34.2	16.6	43.9	5.2
平成28年度 (回答数889)	25.5	16.4	52.5	5.5

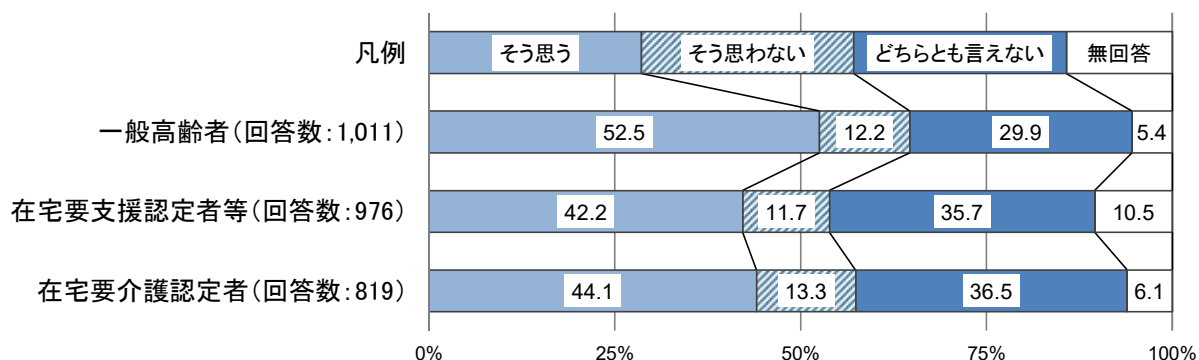
〈在宅認定者等〉

令和4年度 在宅要支援認定者等(回答数 976)	33.0	23.2	0.3	1.1
令和4年度 在宅要介護認定者(回答数 819)	40.3	37.9	1.0	2.1
令和元年度 (回答数762)	26.6	14.4	47.8	5.2
平成28年度 (回答数766)	28.9	13.2	49.1	8.9

○一般高齢者では、「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が平成28年度に比べ 5.5 ポイント増加し、「どちらとも言えない」が 7.6 ポイント減少している。在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では、「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」「使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い」は増加傾向にあり、「どちらともいえない」は大きく減少している。

(2) 介護保険料の低所得者への配慮について

【設問】65歳以上の方の保険料に関して「低所得者に配慮するために、高所得者の負担を多少増やすのもやむを得ない」ということについて、あなたはどのようにお考えですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「そう思う」が最も多く、それぞれ 52.5%、42.2%、44.1%、次いで「どちらとも言えない」がそれぞれ 29.9%、35.7%、36.5%などとなっている。

【経年比較】

〈一般高齢者〉

単位：%

	そう思う	そう思わない	どちらとも言えない	無回答
令和4年度 (回答数1,011)	52.5	12.2	29.9	5.4
令和元年度 (回答数917)	52.7	12.2	31.4	3.7
平成28年度 (回答数889)	51.9	9.9	33.9	4.4

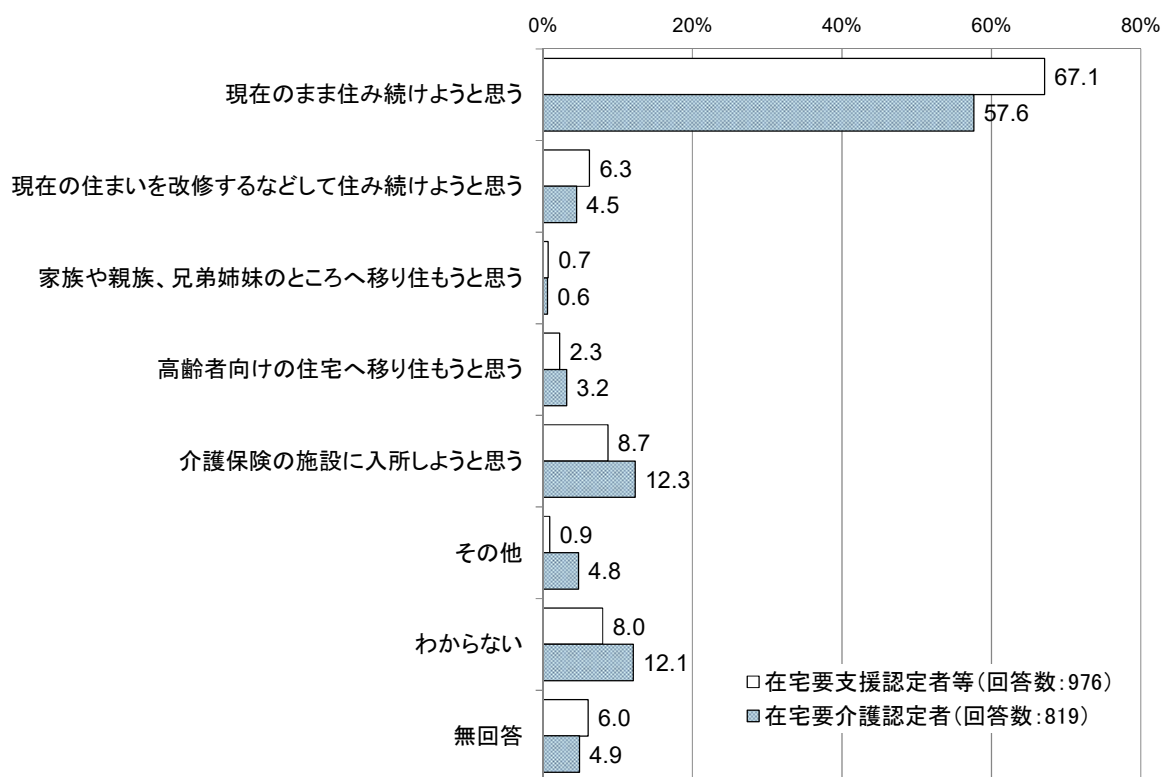
〈在宅認定者等〉

令和4年度 在宅要支援認定者等(回答数 976)	42.2	11.7	35.7	10.5
令和4年度 在宅要介護認定者(回答数 819)	44.1	13.3	36.5	6.1
令和元年度 (回答数762)	47.0	10.1	32.5	10.4
平成28年度 (回答数766)	46.7	12.8	32.9	7.6

○「そう思う」は一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも微減、全体として大きな変化はみられない。

(3) 今後希望する生活場所（在宅要支援認定者等調査では問K、在宅要介護認定者調査では問E）

[設問] 今後希望する生活場所についてうかがいます。

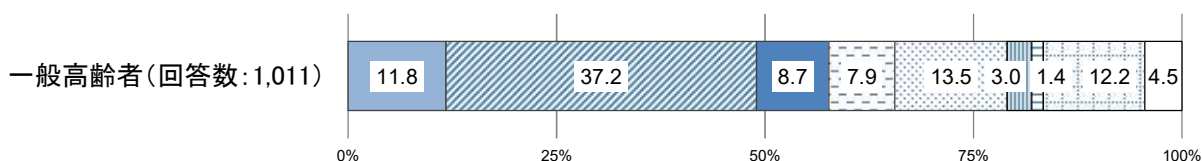


介護保険の施設…介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設等

○在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも「現在のまま住み続けようと思う」が飛び抜けて多く、それぞれ67.1%、57.6%となっている。

(4) 今後、もし自身が介護が必要になったら

[設問] 今後、もしあなたご自身が介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は1つ)

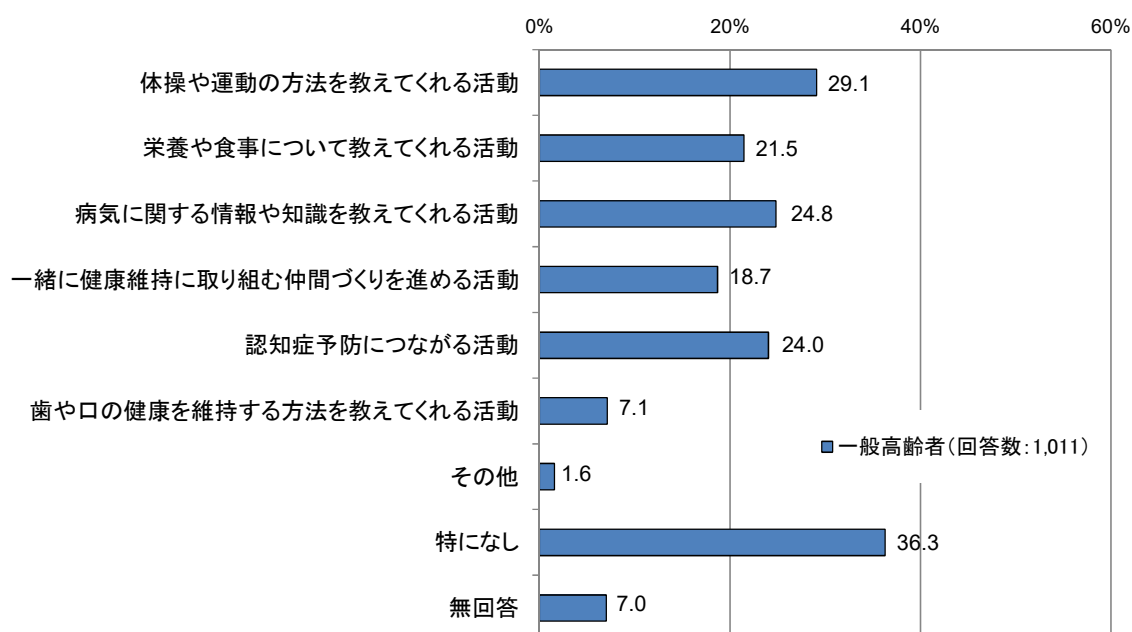


- 家族などを中心にしてできる限り自宅で介護を受けたい
- 介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい
- 高齢者向けの住宅に移り、介護を受けたい
- 軽費老人ホーム(ケアハウス)のような低所得者に配慮した住宅に移り、介護を受けたい
- 介護保険制度のサービス対象となる特別養護老人ホーム、老人保健施設などに入所したい
- 介護は受けたいが、利用料等の負担を考え、介護保険制度のサービスの利用は控える
- その他
- わからない
- 無回答

○「介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい」が 37.2%で最も多く、次いで「介護保険制度のサービス対象となる特別養護老人ホーム、老人保健施設などに入所したい」が 13.5%、「わからない」が 12.2%などとなっている。

(5) 介護予防のために参加したい活動

[設問] 介護予防のために参加したい活動はありますか。(○はいくつでも)

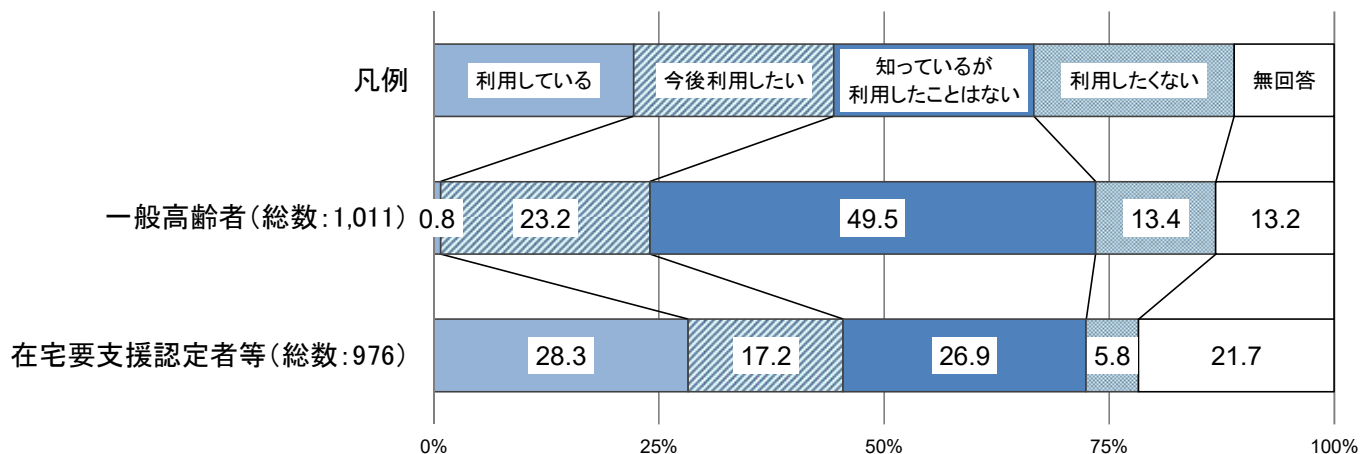


○「特になし」が 36.3%、「体操や運動の方法を教えてくれる活動」が 29.1%、「病気に関する情報や知識を教えてくれる活動」が 24.8%、「認知症予防につながる活動」が 24.0%などが上位となっている。

(6) 介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況など

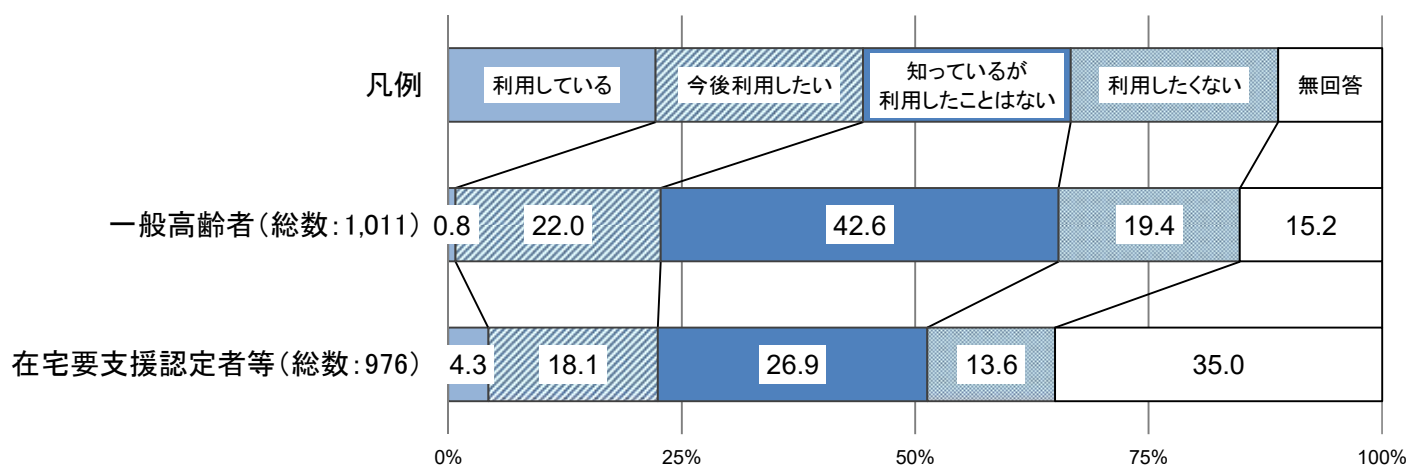
【設問】介護予防・日常生活支援総合事業は、65歳以上のすべての方の日常生活の支援を目的とした事業です。本事業の利用状況や新たなサービスの実施に向けた意向について、おたずねします。(それぞれ〇は1つ)

【生活支援や見守り・介護予防のための訪問や通所の支援(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)】



○一般高齢者では「知っているが利用したことはない」が49.5%で最も多く、次いで「今後利用したい」が23.2%、「利用したくない」が13.4%、在宅要支援認定者等では「利用している」が28.3%で最も多く、次いで「知っているが利用したことはない」が26.9%、「今後利用したい」が17.2%などとなっている。

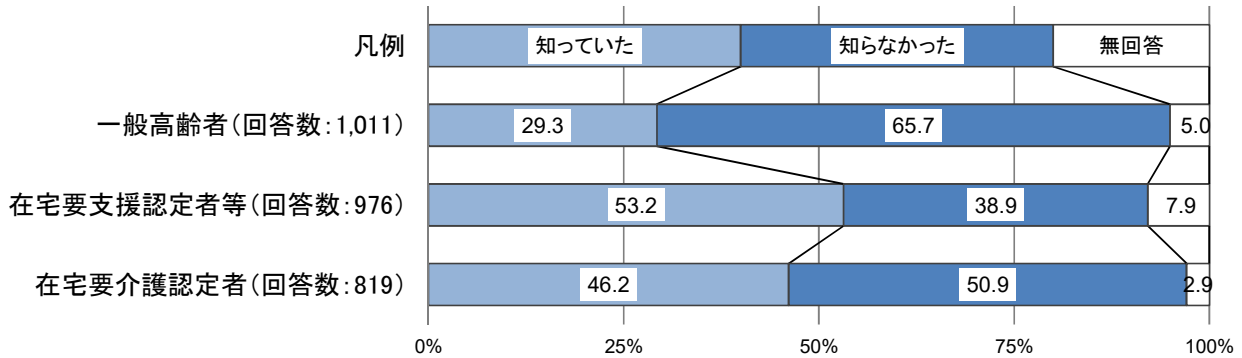
【住民組織やNPOが主体となった集いの場やサービスの提供(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)】



○「無回答」を除き、一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに、「知っているが利用したことはない」が最も多く、それぞれ42.6%、26.9%となっている。次いで「今後利用したい」がそれぞれ22.0%、18.1%などとなっている。

(7) 高齢者外出支援事業の認知度

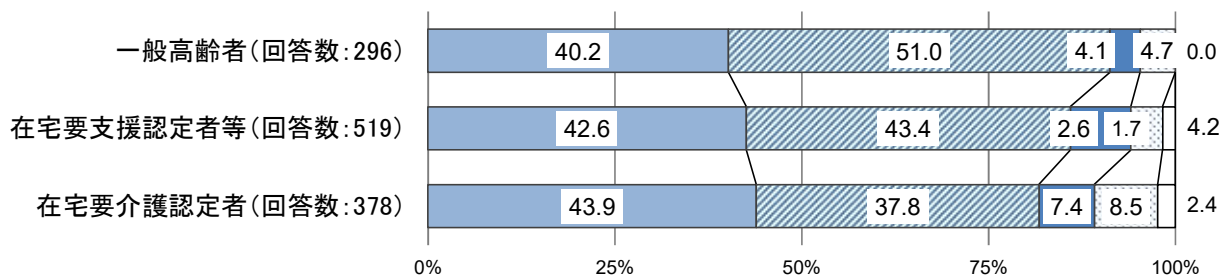
[設問] 高齢者外出支援事業についてうかがいます。市では、高齢者が自宅に引きこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する75歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1枚500円のタクシー券を月3枚(年間最大36枚)、交付していますがご存じでしたか。



○「知っていた」が一般高齢者の29.3%に対し、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では53.2%、46.2%と、それぞれ23.9ポイント、16.9ポイント上回っている。

(8) 高齢者外出支援事業についての情報の入手先

[設問] (高齢者外出支援事業を「知っていた」方のみ)
本事業を何で知りましたか。

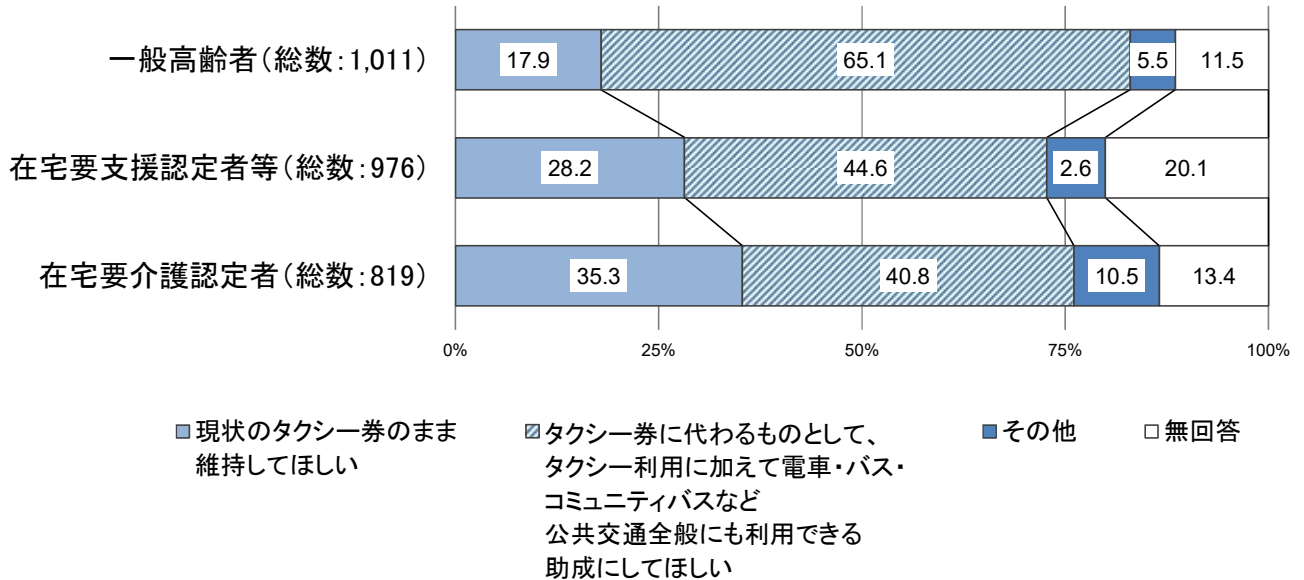


- 市役所 (広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)
- ▨ 親族・友人・知人からの情報
- 高齢者相談センター (地域包括支援センター)
- ▨ その他
- 無回答

○一般高齢者、在宅要支援認定者等では「親族・友人・知人からの情報」がそれぞれ51.0%、43.4%、在宅要介護認定者では「市役所 (広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)」が43.9%で最も多くなっている。

(9) 今後の高齢者外出支援事業の見直しについて

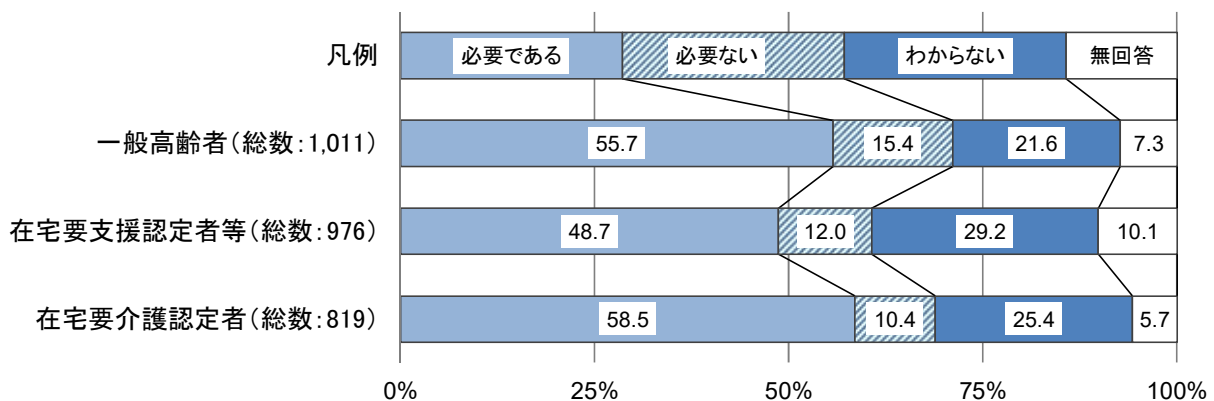
[設問] 本事業では、1枚500円のタクシー券を月3枚(年間最大36枚)支給しておりますが、今後、高齢化の進展により予算が増大することが見込まれており、このままの状況を維持することは非常に困難です。今後の事業の見直しについてどう思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、自宅介護認定者いずれも「タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にしてほしい」がそれぞれ65.1%、44.6%、40.8%で最も多く、次いで「現状のタクシー券のまま維持してほしい」がそれぞれ17.9%、28.2%、35.3%などとなっている。

(10) 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納について

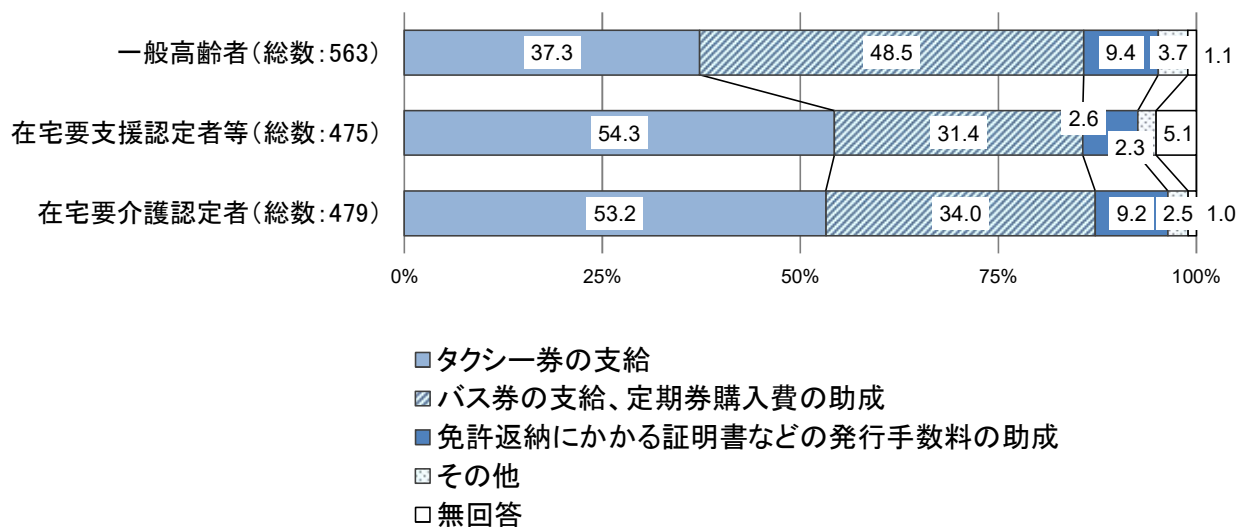
[設問] 近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていないですが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも、「必要である」が最も多く、それぞれ55.7%、48.7%、58.5%、次いで「わからない」が21.6%、29.2%、25.4%などとなっている。

(11) 運転免許証を自主返納した方に必要な支援

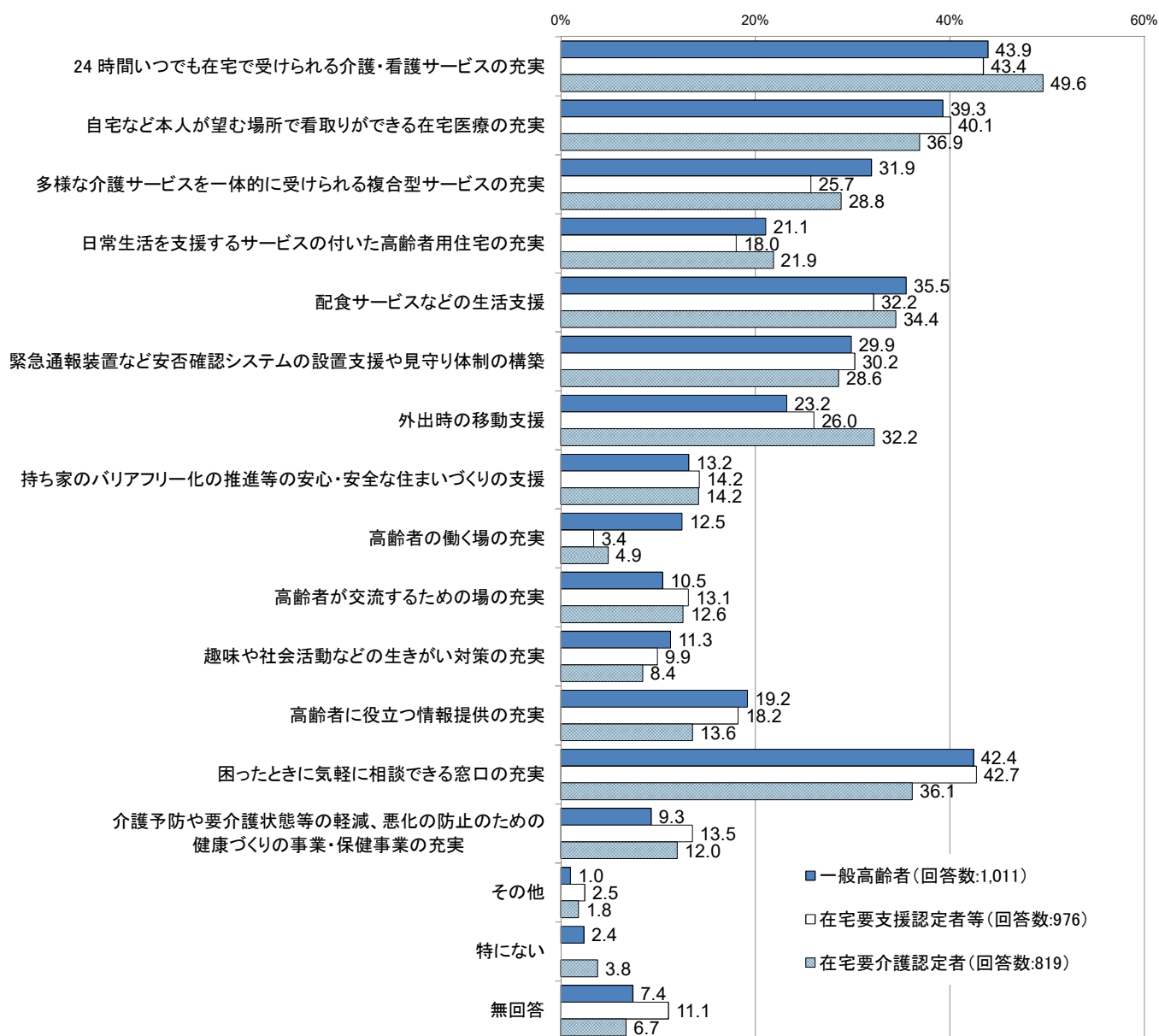
[設問] (運転免許証を自主返納した方に対し支援が「必要である」と思う方のみ)
 どのような支援が必要であると思いますか。



○一般高齢者では「バス券の支給、定期券購入費の助成」が 48.5%で最も多く、次いで「タクシー券の支給」が 37.3%、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では「タクシー券の支給」がそれぞれ 54.3%、53.2%で最も多く、次いで「バス券の支給、定期券購入費の助成」が 31.4%、34.0%などとなっている。

(12) 高齢者が地域で在宅生活を続けるために必要な施策

[設問] あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けていくために、主としてどのような市の施策が必要であると考えますか。(〇は5つまで)



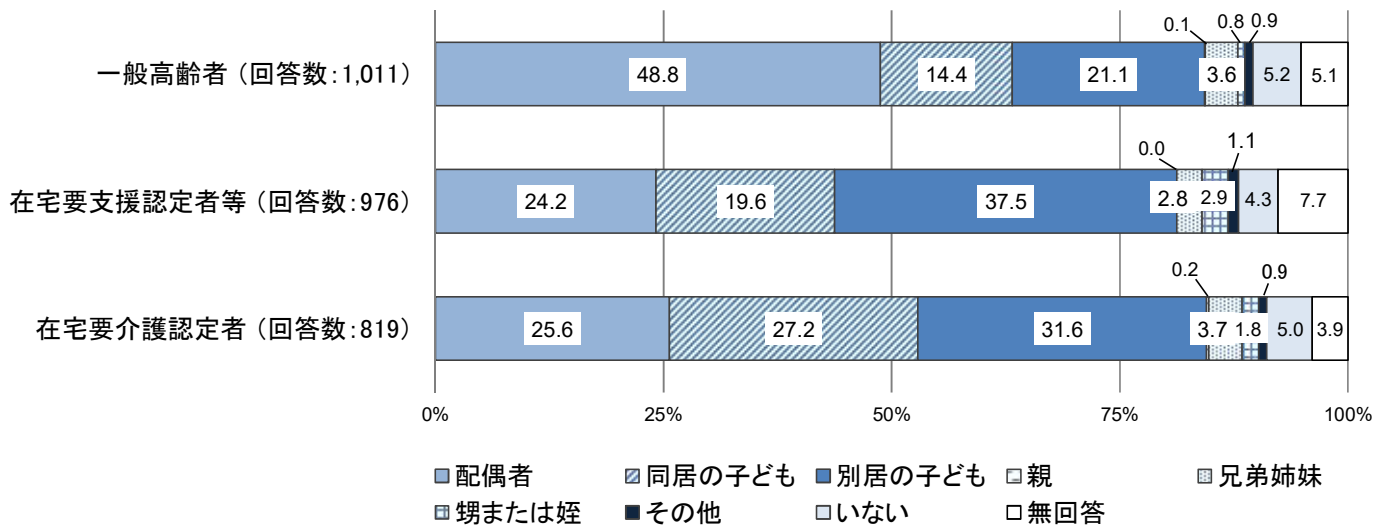
○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「24時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実」がそれぞれ43.9%、43.4%、49.6%で最も多く、次いで一般高齢者、在宅要支援認定者等では「困ったときに気軽に相談できる窓口の充実」が42.4%、42.7%、在宅要介護認定者では「自宅など本人が望む場所で看取りができる在宅医療の充実」が36.9%などとなっている。

11 将来への備えについて(問J)

(在宅要支援認定者等調査では問L、在宅要介護認定者調査では問F)

(1) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内の有無

[設問] あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症など)に、必要な手続きや金銭管理をしてくれる身内の方ハイマーすか。いる場合は、主にどなたですか。(○は1つ)

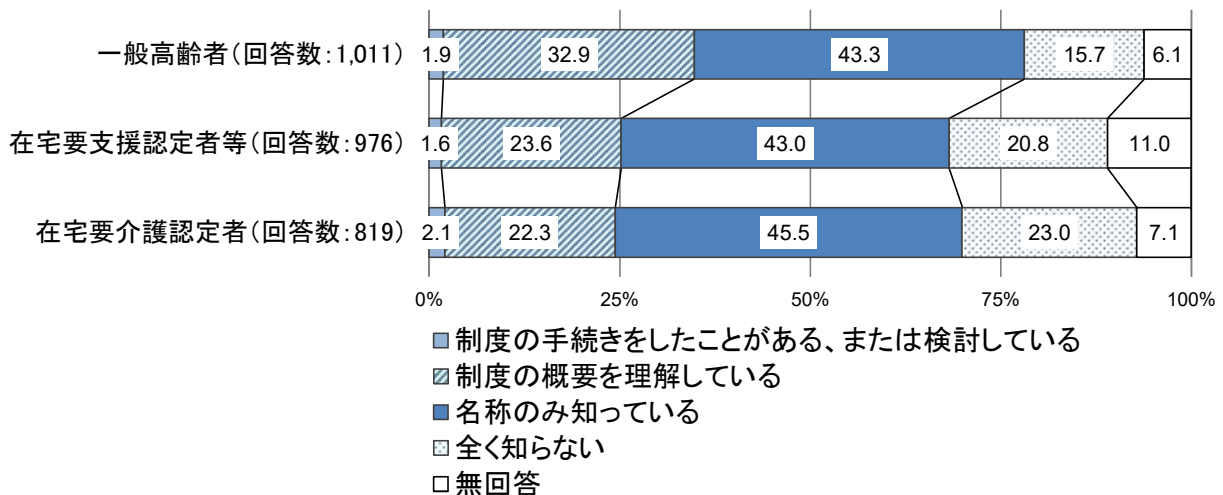


○一般高齢者では「配偶者」が48.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が21.1%、「同居の子ども」が14.4%などとなっている。在宅要支援認定者等と在宅要介護認定者では「別居の子ども」が最も多く、それぞれ37.5%、31.6%、次いで在宅要支援認定者等では「配偶者」が24.2%、在宅要介護認定者では「同居の子ども」が27.2%などとなっている。

(2) 成年後見制度の認知度

[設問] あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ)

(「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも、「名称のみ知っている」が最も多く、それぞれ43.3%、43.0%、45.5%、次いで一般高齢者、在宅要支援認定者等では「制度の概要を理解している」が32.9%、23.6%、在宅要介護認定者では「全く知らない」が23.0%などとなっている。